

TOSHIBA

ログ収集システム for e-STUDIO v1.30A 操作説明書

© 2008 - 2021 Toshiba Tec Corporation All Rights Reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

商標

- ・ Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ e-STUDIO、e-BRIDGE、TopAccess は、東芝テック株式会社の商標または登録商標です。
- ・ その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

知的財産権

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社(以下、「当社」といいます。)の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製、転載を禁じます。本書で使用される当社、当社の関係会社又はその他の会社等、各社の会社名ならびに各社の製品名又はサービス名は、各社の商号、商標、標章に関する権利として、商標法、不正競争防止法及びその他の法律で保護されています。これらを当社、当社の関係会社又はその他の会社等の許諾を得ることなく使用等することはできません。

免責事項

次のいずれかに該当して発生した障害については、当社は責任を負いません。

1. 取扱説明書記載事項に反するお取り扱い、お取り扱い上のはなはだしい不注意および誤用による場合
2. 火災、天災、地震、自然災害、異常気象、異常電圧、これらに類する不可抗力事由による場合
3. 当社が認定するサービスエンジニア以外による改造、分解、移動、修理に起因する場合
4. 当社が推奨するコピー用紙、その他消耗品、部品以外の使用による場合
5. 当社が関与または関知しないハードウェア、ソフトウェアの使用、又はそれら等との接続、結合、組み合わせに起因する場合
6. 上記以外の場合においても、本製品、オプション、およびそれらに付属または内蔵のソフトウェアの使用または使用不能（故障、誤動作、ハングアップ、ウイルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない）から生じた、逸失利益、データの損失、その他特別な、付随的、結果的、間接的損害をはじめとする損害、および第三者からの請求等について、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、弊社は一切責任を負いません。

OMJ190044A0

R191120W4401-TTEC

Ver01 F 発行 2021年3月

目次

1. 概要	5
1.1 はじめに	5
1.2 本システムにアクセスする	5
1.2.1 本システムの起動方法	5
2. 状態	7
2.1 装置状態を表示する	7
3. デバイス管理	8
3.1 デバイス情報を閲覧/変更する	8
3.1.1 デバイス情報の閲覧方法	9
3.1.2 デバイス情報の新規作成方法	10
3.1.3 デバイス情報のバッチ登録方法	13
3.1.4 デバイス情報の検索方法	16
3.1.5 デバイス情報を個別編集する	18
3.1.6 デバイス情報を一括編集する	21
3.1.7 デバイス情報を指定削除する	24
3.1.8 デバイス情報をエクスポートする	25
3.2 デバイスをディスカバリする	28
3.2.1 ディスカバリを定期実行する	28
3.2.2 ディスカバリを即時実行する	28
3.2.3 ホスト指定実行	30
3.2.4 ディスカバリしたデバイスを個別登録する	32
3.2.5 ディスカバリしたデバイスを一括登録する	35
3.3 デバイステンプレートを作成する	38
3.3.1 デバイステンプレートの作成方法	38
3.4 ディスカバリと監視通知を設定する	40
3.4.1 ディスカバリ機能のセットアップ方法	40
3.4.2 デバイス監視通知の設定方法	43
4. ユーザ管理	46
4.1 部門情報を表示する	46
4.1.1 部門情報の新規登録方法	47
4.1.2 部門情報の閲覧方法	49
4.1.3 部門情報の検索方法	50
4.1.4 部門情報の編集方法	52
4.1.5 部門情報を指定削除する	54
4.1.6 部門情報をエクスポートする	55
4.1.7 部門情報を自動更新する	56
4.2 ユーザ情報を表示する	57

4.2.1 ユーザ情報の閲覧方法	58
4.2.2 ユーザ情報の新規登録方法	59
4.2.3 ユーザ情報の検索方法	62
4.2.4 ユーザ情報の編集方法	64
4.2.5 ユーザ情報を指定削除する	66
4.2.6 ユーザ情報をエクスポートする	67
4.2.7 ユーザ情報を自動更新する	68
4.3 インポートする	69
4.3.1 部門情報/ユーザ情報をインポートする	69
4.4 設定する	72
4.4.1 通知メールアドレスを設定する	72
5. カウント集計	73
5.1 カウント集計を表示する	73
5.2 カウント集計を閲覧する	74
5.2.1 カウント集計の閲覧方法	74
5.3 カウント集計の手動集計を行う	79
5.3.1 カウント集計の手動集計方法	80
5.4 カウント集計テンプレートを作成する	82
5.4.1 カウント集計テンプレートの作成方法	82
5.5 カウント集計の管理設定を行う	86
5.5.1 カウント集計の管理設定方法	86
6. JOB ログ	90
6.1 JOB ログを表示する	90
6.2 JOB ログを閲覧する	91
6.2.1 JOB ログの閲覧方法	91
6.3 JOB ログを保管する	99
6.3.1 JOB ログを自動保管する	99
6.3.2 JOB ログを手動保管する	100
6.4 JOB ログを収集する	101
6.4.1 JOB ログを自動収集する	101
6.4.2 JOB ログを即時収集する	102
6.4.3 JOB ログを収集するデバイスの検索方法	103
6.4.4 ログ ID のリセット方法	105
6.5 JOB ログの管理設定を行う	106
6.5.1 JOB ログの管理設定方法	106
7. システムログ	111
7.1 システムログを表示する	111
7.1.1 システムログの表示方法	111
7.2 システムログを管理する	113

7.2.1 システムログの管理設定方法	113
8. システム管理	114
8.1 システム管理	114
8.2 ネットワークの設定を行う	114
8.2.1 ネットワークの設定方法	114
8.3 アカウントの設定を行う	121
8.3.1 アカウントの設定方法	121
8.4 システム警報通知の設定を行う	123
8.4.1 システム警報通知の設定方法	123
9. ログコード	125
9.1 システムログ出力内容（アプリケーション、サービス）	125
9.2 システムログ出力内容（WEB画面）	128

1. 概要

1.1 はじめに

本書ではログ収集システム for e-STUDIO（以降、本システム）におけるカウント集計・JOB ログ収集の設定や実行結果等を閲覧するための操作方法を説明しています。

1.2 本システムにアクセスする

お使いのクライアントマシンから、Web ブラウザを使用して本システムのページを開き、さまざまな操作を行うことができます。

以下に、本システムの起動方法について説明します。

1.2.1 本システムの起動方法

1 Web ブラウザを起動し、ワン ボックス（URL 入力欄）に以下の URL を入力します。

http(s):// <IP アドレス> /MFP/aspx/Main/login.aspx
<IP アドレス>は本システムの IP アドレスを入力します。
お使いの環境によって互換モードを有効にしてください。

【補足】

Internet Explorer で正常に表示できない場合は、以下の Internet Explorer の設定を確認してください。

- ・ 互換性表示設定が有効になっていること
- ・ ポップアップが有効になっていること
- ・ JavaScript が有効になっていること

2 本システムの Web ページにログインします。

ログ収集システム for e-STUDIO ログイン

user:

pass:

ログイン方法

- 1) **user**
ユーザアカウントを入力します。
初期登録は「admin」に設定されています。
- 2) **pass**
パスワードを入力します。
初期登録は「password」に設定されています。
- 3) **login ボタン**
本システムにログインします。
- 4) **clear ボタン**
ユーザアカウント、パスワードの入力を消去します。

【補足】

ユーザアカウントおよびパスワードは変更することができます。

参照▶ [「アカウントの設定を行う」](#)

【注意】

文字列入力欄によっては、「&」記号を入力すると、「&」に変換されて登録する場合があります。文字列入力欄に「&」記号を使用しないでください。

文字列入力欄に一部の記号を入力して保存または更新をすると、エラー画面が表示されることがあります。その場合は、記号を使用しないで保存または更新をしてください。

2. 状態

2.1 装置状態を表示する

「状態」タブをクリックすると、本システムのマシン状態とデバイスの稼動状況を表示されます。

The screenshot shows the 'Log Collection System for e-STUDIO' interface. At the top, there are navigation tabs: '状態' (Status), 'デバイス管理' (Device Management), 'ユーザ管理' (User Management), 'カウント集計' (Count Collection), 'JOBログ' (JOB Log), 'システムログ' (System Log), and 'システム設定' (System Settings). The '状態' tab is selected. Below the tabs, there is a server icon and a table titled 'サーバ情報' (Server Information). The table lists various system metrics and their current values. Below the table, there is a section for 'デバイス稼動状況' (Device Operation Status) with a progress bar indicating that all devices are operating normally.

サーバ情報	
CPU	Intel(R) Xeon(R) CPU E3-1230 V2 @ 3.30GHz
メモリ	4294MB
メモリ使用率	86%
データベースHDD	107GB
データベースHDD使用率	26%
システム監視サービス	実行中
タイマー監視サービス	実行中
Trap受信サービス	実行中

デバイス稼動状況
全てのデバイスが、正常に稼動しています。

項目	説明
CPU	CPU の情報を表示します。
メモリ	メモリ容量 (MB) を表示します。
メモリ使用率	メモリ容量に対する現在の使用率 (%) を表示します。
データベース HDD	データベースが保管されているハードディスク容量 (GB) を表示します。
データベース HDD 使用率	データベースが保管されているハードディスク容量に対する現在の使用率 (%) を表示します。
システム監視サービス	システム監視サービスの状態を表示します。
タイマー監視サービス	タイマー監視サービスの状態を表示します。
Trap 受信サービス	Trap 受信サービスの状態を表示します。

デバイス稼動状況	
デバイスグループ	稼動状況
恵比寿第一グループ	4台のデバイスが異常です
目黒第二グループ	10台のデバイスが異常です
津田第三グループ	8台のデバイスが異常です
川崎第四グループ	9台のデバイスが異常です
蒲田第五グループ	7台のデバイスが異常です
横浜第六グループ	3台のデバイスが異常です
磯内第七グループ	7台のデバイスが異常です

項目	説明
デバイスグループ	異常のあるデバイスが存在するデバイスグループを表示します。デバイスグループ名をクリックすると、「デバイス管理」タブ「閲覧」ページを表示します。「閲覧」ページには、該当するデバイスグループのデバイス状態が「NG」のデバイスのみが表示されます。
稼動状況	デバイスグループ内にいくつ異常なデバイスがあるかを表示します。

3. デバイス管理

3.1 デバイス情報を閲覧/変更する

デバイス情報を閲覧/変更する方法について説明します。
ここで表示するデバイス情報は、ディスカバリ後に管理対象として登録したデバイス情報です。

【注意】

管理対象となるデバイスの検出方法については「デバイスをディスカバリする」を参照してください。

参照▶ [「デバイスをディスカバリする」](#)

ディスカバリしたデバイスを管理対象として登録するにはディスカバリしたデバイスを登録方法を参照してください。

参照▶ [「ディスカバリしたデバイスを個別登録する」](#)

参照▶ [「ディスカバリしたデバイスを一括登録する」](#)

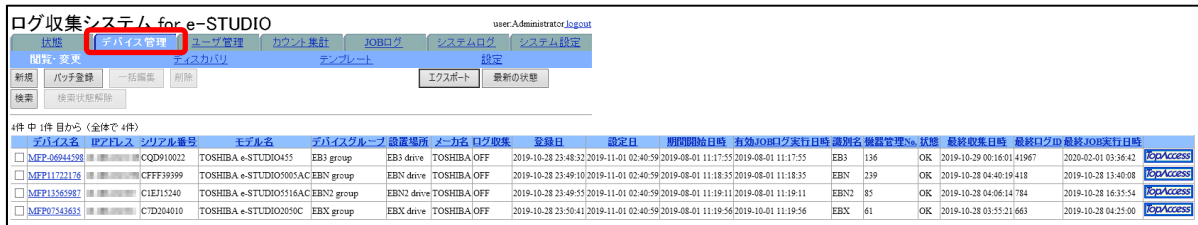
デバイスの管理者パスワードについて

JOB ログの有効実行日時以降の JOB ログ ID を取得するため、デバイス登録後初回通信時に MFPSystem.ini で設定されたデバイスの管理者パスワードを利用して通信を行います。パスワードが間違っていると最も古い JOB ログ ID のログから取得します。管理者パスワードの設定については、メンテナンスガイドを参照してください。

3.1.1 デバイス情報の閲覧方法

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧ページが表示されます。1 ページに表示できる最大項目数は 500 です（デバイスは 1 ページに最大 500 台まで表示できます）。



項目	説明
デバイス名	デバイス名を表示します。
IP アドレス	デバイスの IP アドレスを表示します。
シリアル番号	デバイスのシリアル番号を表示します。
モデル名	デバイスのモデル名を表示します。
デバイスグループ	デバイスの属するデバイスグループを表示します。
設置場所	デバイスの設置場所を表示します。
メーカー名	デバイスのメーカー名を表示します。
ログ収集	デバイスから JOB ログの収集を行うか行わないかを [ON]、または [OFF] で表示します。
登録日	デバイスを管理対象として登録した日時を表示します。
設定日	デバイスの情報を更新または修正した日時を表示します。
期間開始日時	登録または更新・修正されたデバイス情報の使用開始日時を表示します。 設定した開始日時以前のログはデバイス情報（デバイス名/デバイス管理 No/デバイス識別名/デバイスグループ/デバイス IP アドレス）を表示しません。
有効 JOB ログ実行日時	JOB ログの収集対象とする開始日時を表示します。 この日時より先の JOB ログを、カウント集計や JOB ログの閲覧で使用します。 設定した実行日時以前のログは破棄 (DB に登録しない) されます。
識別名	デバイスの識別名を表示します。
機器管理 No.	デバイスの管理番号を表示します。
状態	デバイスの状態を表示します。 正常の場合は [OK]、異常のある場合は [NG] を表示します。
最終収集日時	JOB ログ収集を実行した日時を表示します。
最終ログ ID	最後に収集した JOB ログ ID を表示します。
最終 JOB 実行日時	最後に収集した JOB の実行日時を表示します。
TopAccess	TopAccess をブラウザで表示します。

【補足】

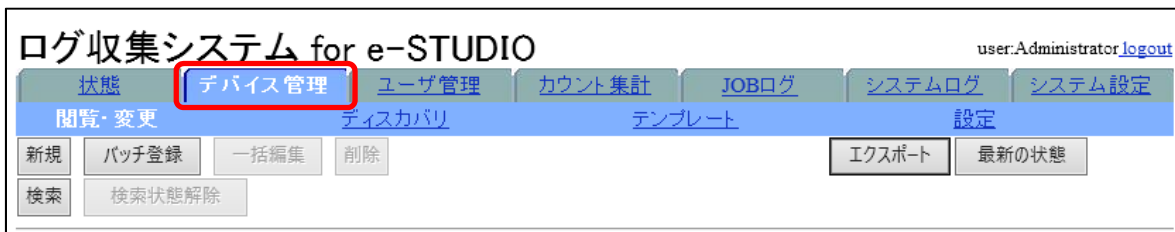
上記、項目名の部分をクリックすると、昇順・降順でソートすることができます。
最新の情報を表示するには、右上の [最新の状態] をクリックします。

3.1.2 デバイス情報の新規作成方法

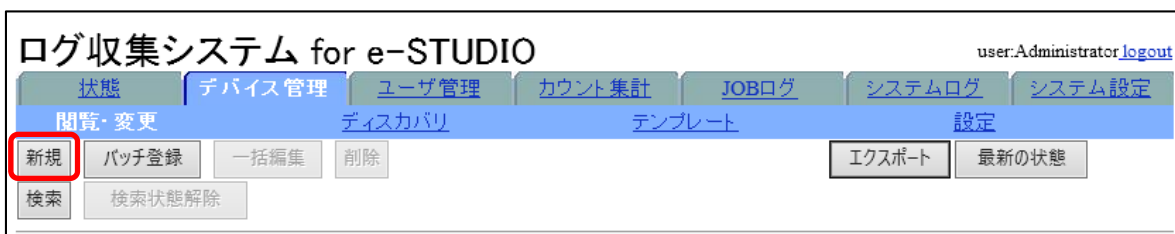
デバイス情報を新規に登録します。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



2 [新規]をクリックします。



デバイス情報新規作成画面が表示されます。

3 デバイス情報を入力します。

デバイス情報新規作成

テンプレート: 未使用 ▼

デバイス名:

IPアドレス:

シリアル番号:

モデル名:

デバイスグループ: 新規作成 ▼

設置場所:

メーカー名:

ログ収集: ON ▼

識別名:

機器管理No.:

期間開始日: 2019/11/27 Cal 15 ▼ : 38 ▼ : 11 ▼

ログ有効日時: 2019/11/27 Cal 15 ▼ : 38 ▼ : 11 ▼

テンプレートを使用する場合は、使用するテンプレートを指定します。テンプレートを指定すると、テンプレートの設定が編集項目に適用されます。使用しない場合は[未使用]を指定します。

テンプレートを使用するには事前にテンプレートを作成する必要があります。

参照▶ [「デバイステンプレートを作成する」](#)

1) デバイス名 (必須)

デバイス名を入力します。全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。

2) IP アドレス (必須)

IP アドレスを入力します。「0.0.0.0～255.255.255.255」の範囲から半角で入力します。

3) シリアル番号 (必須)

シリアル番号を入力します。全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。

4) モデル名 (必須)

モデル名を入力します。全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。

5) デバイスグループ (必須)

デバイスが属するデバイスグループを指定します。

所属させたいデバイスグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するデバイスグループ名を入力してください。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

6) 設置場所 (必須)

設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

7) メーカー名 (必須)

メーカー名を入力します。全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。

8) ログ収集 (必須)

指定のデバイスでログ収集を行う場合は[0N]を、ログ収集を行わない場合は[0FF]を指定します。

9) 識別名 (必須)

識別名を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

10) 機器管理 No. (必須)

機器管理 No. を入力します。半角 16 文字まで入力できます。

【注意】

重複する機器管理 No. を登録することはできません。

11) 期間開始日 (必須)

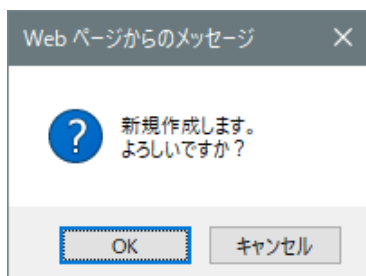
上記で設定したデバイス情報の使用開始日時を設定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
 - ・時間は、プルダウンメニューから指定します。
- 指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

12) ログ有効日時 (必須)

JOB ログの有効開始日時を指定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
 - ・時間は、プルダウンメニューから指定します。
- 指定された日時以降の JOB ログを収集対象とします。

4 [保存]をクリックします。**5 [OK]をクリックします。**

デバイス情報が新規作成され、登録されます。

3.1.3 デバイス情報のバッチ登録方法

複数のデバイス情報を記録した CSV ファイルを読み込んで、多くのデバイス情報を一括して登録します。

操作を始める前に、以下のデバイス情報を順に記録した CSV ファイルを作成します。

1) IP アドレス (必須)

IP アドレスを入力します。「0.0.0.0～255.255.255.255」の範囲から半角で入力します。

2) 機器管理 No. (必須)

機器管理 No. を入力します。半角 16 文字まで入力できます。

【注意】

重複する機器管理 No. を登録することはできません。

3) 識別名 (必須)

識別名を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

4) デバイスグループ

デバイスが属するデバイスグループを指定します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

5) 設置場所

設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

6) ログ収集

指定のデバイスでログ収集を行う場合は [0] を、ログ収集を行わない場合は [1] を指定します。指定されないときは、[0] が自動的に指定されます。

7) 期間開始日

デバイス情報の使用開始日時を設定します。指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。入力フォーマットは YYYY/MM/DD HH:MM:SS です。指定されないときは、バッチ登録時の日時が自動的に指定されます。

8) ログ有効日時

JOB ログの有効開始日時を指定します。指定された日時以降の JOB ログを収集対象とします。入力フォーマットは YYYY/MM/DD HH:MM:SS です。指定されないときは、バッチ登録時の日時が自動的に指定されます。

デバイスの日付が誤っていた場合の JOB ログ収集について

デバイス登録後、JOB ログの有効実行日時以降の JOB ログ ID を取得するため、JOB ログの日付を参照します。

誤って、デバイスの日付が実際の日時よりも前に設定されていた場合、取得する JOB ログが不足する場合があります。その場合、誤って設定した日付の開始日（下記例 2020/1/3）より前の日付（下記例 2020/1/2）をデバイス登録時の JOB ログの有効実行日時に指定してください。

（例）

2020/2/1 2020/2/2 2020/1/3 2020/1/4 2020/2/5 2020/2/6 と設定されていた場合は、2020/1/2 を JOB ログの有効実行日時に設定してください。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



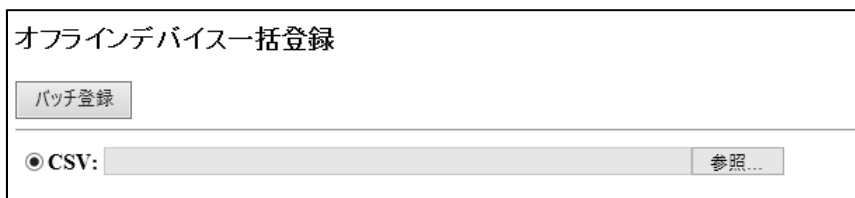
2 [バッチ登録]をクリックします。



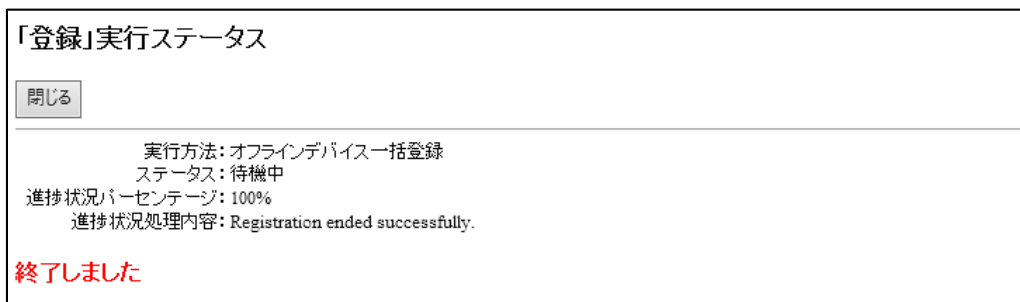
オフラインデバイス一括登録画面が表示されます。

3 デバイス情報を記録した CSV ファイルを選択して、[バッチ登録] をクリックします。

CSV ボックスに CSV ファイルを保存したフォルダのパスを入力するか、[参照] をクリックして CSV ファイルを選択します。



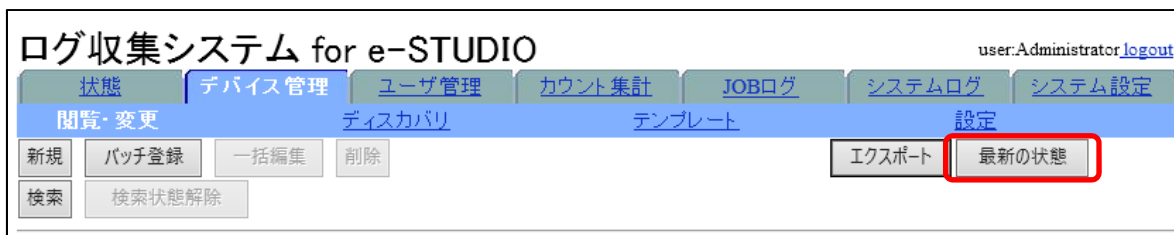
4 「登録」実行ステータス画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。



【注意】

無効なデバイス情報が見つかったら、画面にメッセージを表示します。バッチ登録情報を記録したシステムログを参照して無効なデバイス情報を探し、問題を解決してそのデバイスを再度登録してください。

5 [最新の状態]をクリックします。



閲覧・変更ページが更新され、バッチ登録結果が表示されます。

3.1.4 デバイス情報の検索方法

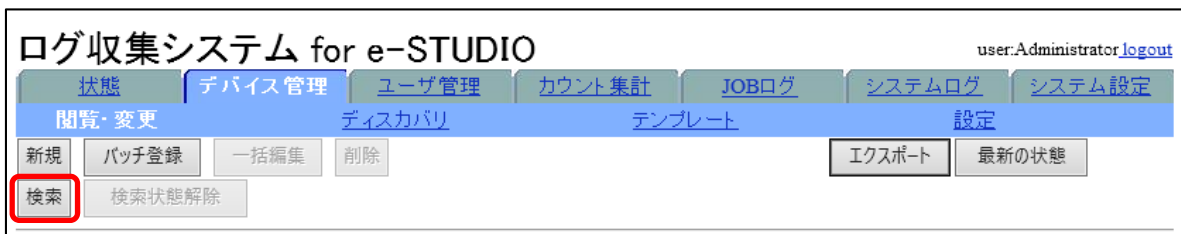
条件を指定して、閲覧したいデバイス情報を検索し、表示します。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス閲覧ページが表示されます。



2 デバイス閲覧ページの[検索]をクリックします。



デバイス情報検索画面が表示されます。

3 検索対象として指定する項目をチェックします。

デバイス情報検索

検索 キャンセル 閉じる

<input checked="" type="checkbox"/> デバイス名:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> シリアル番号:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> モデル名:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> デバイスグループ名:	所属なし ▼	のものすべて ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 設置場所:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> メーカー名:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> ログ収集:	ON ▼	のものすべて ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 識別名:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 機器管理No.:	<input type="text"/>	を含む ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 状態:	OK ▼	のものすべて ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 最終ログID:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下	

【補足】

検索対象を複数指定することができます。

検索対象を複数選択した場合は、選択したすべての項目の条件に合致するデバイスが検索されます。

4 検索文字列を入力する、または検索条件を指定します。

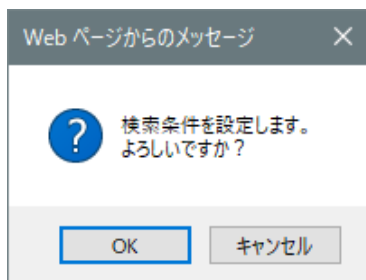
- ① [デバイス名]、[IP アドレス]、[シリアル番号]、[モデル名]、[設置場所]、[メーカー名]、[識別名]、[機器管理 No.]のいずれかで検索する場合
検索文字列を入力し、右横のプルダウンメニューから検索方法を指定します。
- ② [デバイスグループ名]、[ログ収集]、[状態]のいずれかで検索する場合
検索条件を選択し、右横のプルダウンメニューから検索条件を指定します。
- ③ [最終ログ ID]で検索する場合
検索する下限の最終ログ ID と上限の最終ログ ID、またはどちらか一方を半角で入力します。

【補足】

デバイスの検索では、大文字・小文字・半角・全角を区別しません。

5 [検索]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。



検索を開始し、検索結果ページが表示されます。

【補足】

閲覧ページ上で、デバイス名以外で検索条件に指定したい項目の欄をクリックすると、その条件と同じデバイス情報が絞り込み検索されます。
検索状態を解除し、すべてのデバイス情報を表示させるには、[検索状態解除]をクリックします。

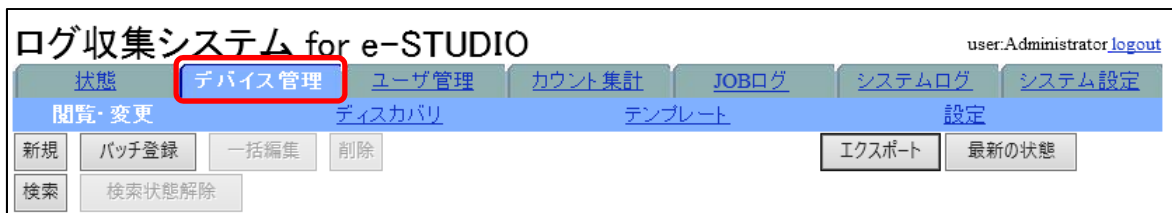
3.1.5 デバイス情報を個別編集する

デバイス情報を編集するには、「個別編集」と「一括編集」の2つの方法があります。ここでは、「個別編集」について説明します。

編集方法	説明
個別編集	編集したいデバイスを一つ指定して更新します。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



2 編集するデバイス名をクリックします。



デバイス情報閲覧・編集画面が表示されます。

3 デバイス情報を編集します。

デバイス情報閲覧・編集

更新 キャンセル 閉じる

テンプレート: 未使用 ▼

デバイス名:

IPアドレス:

シリアル番号:

モデル名:

デバイスグループ: EB3 group ▼

設置場所:

メーカー名:

ログ収集: OFF ▼

識別名:

機器管理No.:

期間開始日: Cal 11 ▼ : 17 ▼ : 55 ▼

ログ有効日時:

1) テンプレート

使用するテンプレートを選択し、テンプレートの設定を適用できます。テンプレートを事前に登録しておくことで、情報の入力を簡略化することができます。

参照▶ [「デバイステンプレートを作成する」](#)

2) デバイスグループ

デバイスが属するデバイスグループを指定します。

所属させたいデバイスグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するデバイスグループ名を入力してください。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 設置場所

デバイスの設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

4) ログ収集

指定のデバイスでログ収集を行う場合は[ON]を、ログ収集を行わない場合は[OFF]を指定します。

5) 識別名

デバイスの識別名を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

6) 機器管理 No.

デバイスの機器管理 No. を入力します。半角 16 文字まで入力できます。

【注意】

重複する機器管理 No. を登録することはできません。

7) 期間開始日

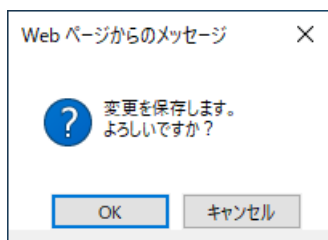
上記で設定したデバイス情報の使用開始日時を設定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

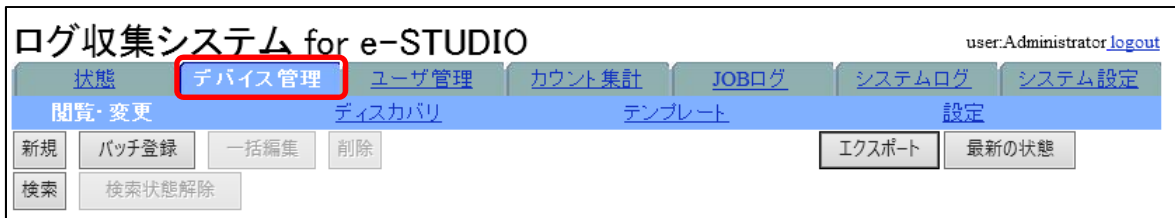
3.1.6 デバイス情報を一括編集する

デバイス情報を編集するには、「個別編集」と「一括編集」の2つの方法があります。ここでは、「一括編集」について説明します。

編集方法	説明
一括編集	編集したいデバイスを複数指定して更新します。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

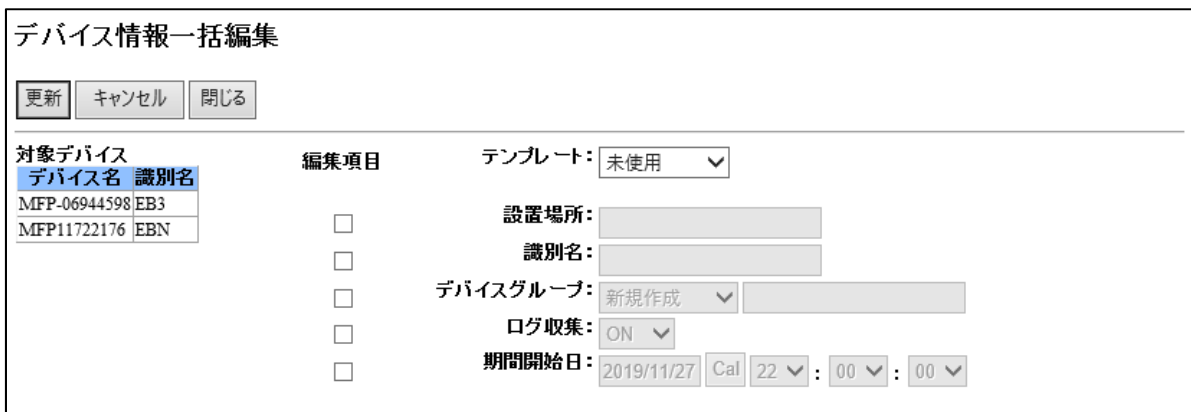
デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



2 編集したいデバイスをチェックし、[一括編集]をクリックします。



デバイス一括編集画面が表示されます。



画面左側に選択したデバイスの「デバイス名」および「識別名」が表示されます。このデバイスを対象に一括編集を行います。

【注意】

- ・一括編集するデバイス数が多いと、エラーメッセージを表示して一括編集できない場合があります。デバイスのチェックを外して、一括編集の対象デバイス数を減らしてください（複数回に分けてデバイスを選択して、一括編集してください）。
- ・編集したいデバイスの指定は1ページごとに行ってください。一度に複数ページのデバイスを[一括編集]することはできません。

3 編集する項目をチェックし、デバイス情報を編集します。

対象デバイス		編集項目	テンプレート:
更新	キャンセル		未使用 ▼
デバイス名	識別名	<input checked="" type="checkbox"/>	設置場所: <input type="text"/>
MFP-06944598	EB3	<input checked="" type="checkbox"/>	識別名: <input type="text"/>
MFP11722176	EBN	<input checked="" type="checkbox"/>	デバイスグループ: 新規作成 ▼ <input type="text"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	ログ収集: ON ▼
		<input checked="" type="checkbox"/>	期間開始日: 2019/11/27 Cal 22 ▼ : 00 ▼ : 00 ▼

テンプレートを使用する場合は、使用するテンプレートを指定します。テンプレートを指定すると、テンプレートの設定が編集項目に適用されます。使用しない場合は[未使用]を指定します。

テンプレートを使用するには事前にテンプレートを作成する必要があります。

参照 ▶ 「[デバイステンプレートを作成する](#)」

以下の項目が編集可能です。チェックした項目のみ更新されます。

1) 設置場所

設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 16 文字まで入力できます。

2) 識別名

識別名を入力します。全角 32 文字、半角 16 文字まで入力できます。

3) デバイスグループ

デバイスが属するデバイスグループを指定します。

所属させたいデバイスグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するデバイスグループ名を入力してください。全角 32 文字、半角 16 文字まで入力できます。

4) ログ収集

指定のデバイスでログ収集を行う場合は[ON]を、ログ収集を行わない場合は[OFF]を指定します。

5) 期間開始日

上記で設定したデバイス情報の使用開始日時を設定します。

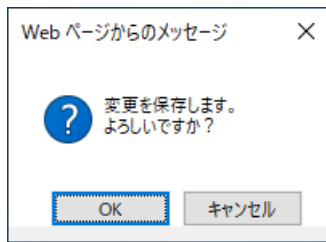
- ・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

3.1.7 デバイス情報を指定削除する

デバイス情報を管理対象から削除します。

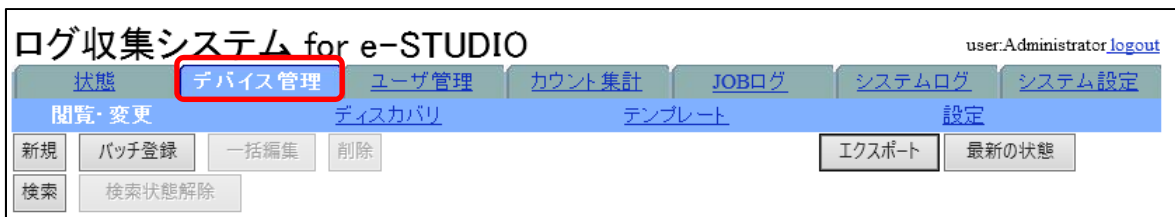
デバイスを管理対象から削除するには、「閲覧・変更」メニューと「ディスカバリ」メニューから削除する方法があります。

ここでは、「閲覧・変更」メニューから「指定削除」する方法について説明します（「ディスカバリ」メニューから削除する場合も、基本的に手順は同じです）。

削除方法	説明
指定削除	削除したいデバイスを一件以上指定して削除します。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



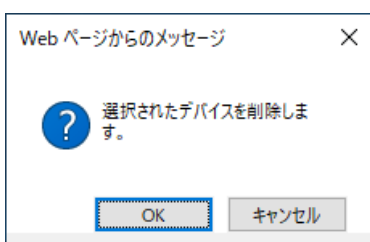
2 削除したいデバイス情報をチェックし、[削除]をクリックします。



【注意】

削除するデバイスの指定は1ページごとに行ってください。一度に複数ページのデバイス情報を[削除]することはできません。

3 [OK]をクリックします。



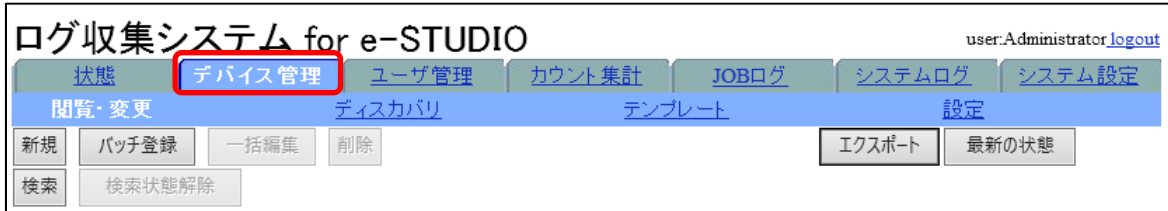
デバイス情報が削除されます。

3.1.8 デバイス情報をエクスポートする

登録されているデバイスの情報を CSV ファイルにエクスポートします。

1 「デバイス管理」タブをクリックします。

デバイス管理の閲覧・変更ページが表示されます。



2 情報をエクスポートしたいデバイスを選択し、[エクスポート]をクリックします。

- ・ 特定のデバイス情報をエクスポートするには、チェックボックスをチェックします。
- ・ 画面に表示されている全デバイスの情報をエクスポートするには、どのチェックボックスもチェックしません。メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- ・ デバイスを検索すると、検索されたデバイスのみがエクスポートの対象になります（チェックする必要はありません）。



【注意】

情報をエクスポートするデバイスの選択は 1 ページごとに行ってください。一度に複数ページのデバイス情報をエクスポートすることはできません。

3 エクスポートしたい情報の列を選択します。

- ・ 一覧表示リストの項目をチェックして[追加]をクリックします。[すべてをチェック]をクリックすると全情報が選択されます。[すべてを解除]をクリックすると、選択が解除されます。
- ・ 選択中リストの項目を選択して[削除]をクリックすると、エクスポートの対象から外れます。

列選択

一覧表示

18件中 1件 目から (全体で 18件)

列選択
<input type="checkbox"/> デバイス名
<input type="checkbox"/> IPアドレス
<input type="checkbox"/> シリアル番号
<input type="checkbox"/> モデル名
<input type="checkbox"/> デバイスグループ
<input type="checkbox"/> 設置場所
<input type="checkbox"/> メーカー名
<input type="checkbox"/> ログ収集
<input type="checkbox"/> 登録日
<input type="checkbox"/> 設定日
<input type="checkbox"/> 期間開始日時
<input type="checkbox"/> 有効JOBログ実行日時
<input type="checkbox"/> 識別名
<input type="checkbox"/> 機器管理No.
<input type="checkbox"/> 状態
<input type="checkbox"/> 最終収集日時
<input type="checkbox"/> 最終ログID
<input type="checkbox"/> 最終JOB実行日時

選択中

デバイス名
 IPアドレス
 シリアル番号
 モデル名
 デバイスグループ
 設置場所
 メーカー名
 ログ収集
 登録日
 設定日
 期間開始日時
 有効JOBログ実行日時
 識別名
 機器管理No.
 状態
 最終収集日時
 最終ログID
 最終JOB実行日時

4 [決定]をクリックして、[ファイルを開く]または[保存]をクリックします。

- ・ [決定]をクリックすると、CSV ファイル (RegisteredDeviceInfoList.csv) をダウンロードします。[ファイルを開く]をクリックするとファイルが開きます (内容を確認してから、保存してください)。[保存]をクリックすると、フォルダを選択してファイルを保存できます。
- ・ [クリア]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると、選択状態をクリアして画面が閉じます。[キャンセル]をクリックすると、クリア操作をキャンセルします。

列選択

決定 クリア 閉じる

一覧表示

18件中 1件 目から (全体で 18件)

列選択
<input type="checkbox"/> デバイス名
<input type="checkbox"/> IPアドレス
<input type="checkbox"/> シリアル番号
<input type="checkbox"/> モデル名
<input type="checkbox"/> デバイスグループ
<input type="checkbox"/> 設置場所
<input type="checkbox"/> メーカー名
<input type="checkbox"/> ログ収集
<input type="checkbox"/> 登録日
<input type="checkbox"/> 設定日
<input type="checkbox"/> 期間開始日時
<input type="checkbox"/> 有効JOBログ実行日時
<input type="checkbox"/> 識別名
<input type="checkbox"/> 機器管理No.
<input type="checkbox"/> 状態
<input type="checkbox"/> 最終収集日時
<input type="checkbox"/> 最終ログID
<input type="checkbox"/> 最終JOB実行日時

すべてをチェック すべてを解除

選択中

デバイス名
 IPアドレス
 シリアル番号
 モデル名
 デバイスグループ
 設置場所
 メーカー名
 ログ収集
 登録日
 設定日
 期間開始日時
 有効JOBログ実行日時
 識別名
 機器管理No.
 状態
 最終収集日時
 最終ログID
 最終JOB実行日時

追加>> <<削除

157.69.50.249 から RegisteredDeviceInfoList.csv を開くか、または保存しますか? ×

ファイルを開く(O)
保存(S) ▼
キャンセル(C)

3.2 デバイスをディスカバリする

デバイスのディスカバリでは、指定されたセグメント、または、単一の IP アドレスからデバイスを検出します。ディスカバリされたデバイスは、[ディスカバリ]メニューページに一覧表示されます。

デバイスをディスカバリするには、以下の 3 つの方法があります。

実行方法	説明
定期実行	周期の設定に従って、デバイスのディスカバリを定期的に行います。
即時実行	デバイスのディスカバリを即時実行します。
ホスト指定実行	IP アドレスを直接指定、もしくは IP アドレスを設定した CSV ファイルを指定し、即時にデバイスをディスカバリします。

【注意】

ディスカバリを行う前に、SNMP の設定、および、ディスカバリの設定を行ってください。

参照 ▶ 「ネットワークの設定方法」 5) SNMP を設定する

参照 ▶ 「ディスカバリ機能のセットアップ方法」

ディスカバリの自動実行中に、即時実行およびホスト指定実行はできません。

3.2.1 ディスカバ리를定期実行する

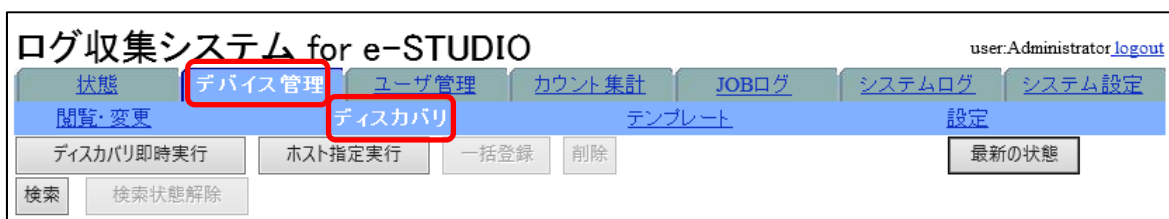
ディスカバリの定期実行は、ディスカバリの設定を行うことで自動的に実行されます。

参照 ▶ 「ディスカバリ機能のセットアップ方法」

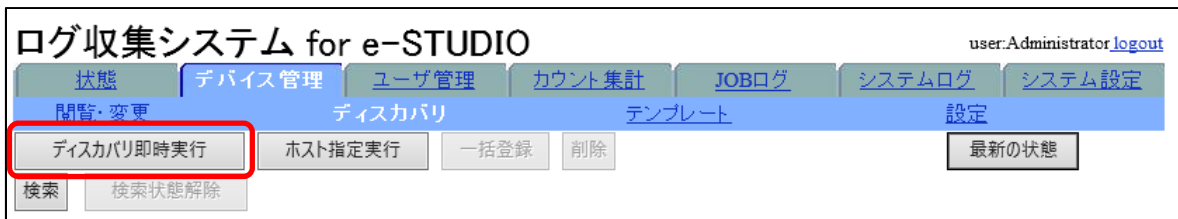
3.2.2 ディスカバ리를即時実行する

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「ディスカバリ」メニューをクリックします。

ディスカバリのページが表示されます。

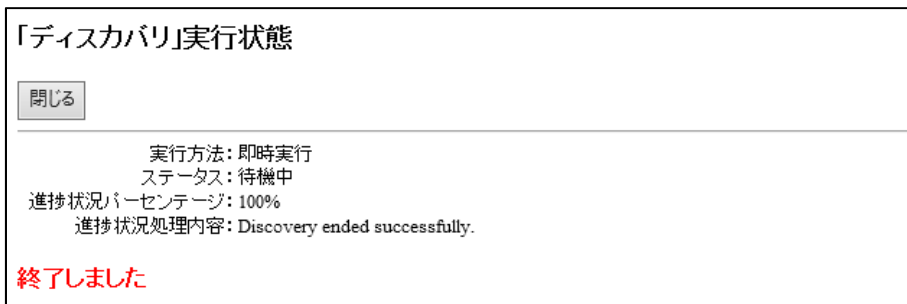


2 [ディスカバリ即時実行]をクリックします。



即時実行が開始し、「ディスカバリ」実行状態画面が表示されます。

3 終了後に、「閉じる」をクリックして画面を閉じます。



4 [最新の状態]をクリックします。

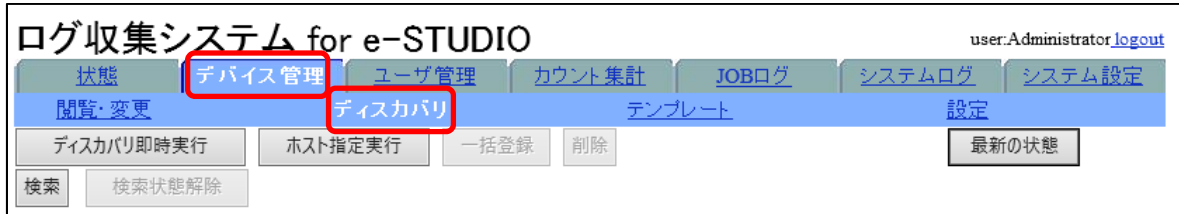
ディスカバリのページが更新され、ディスカバリ結果が表示されます。



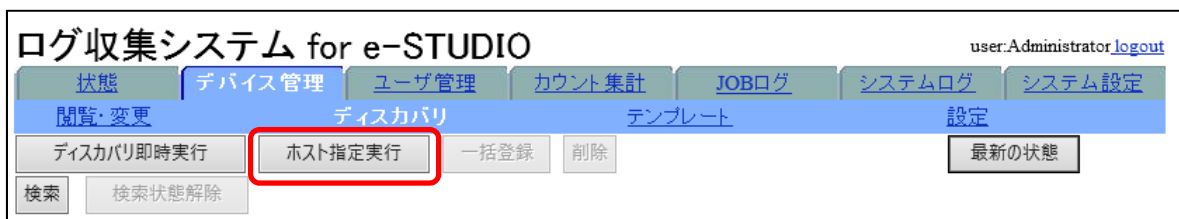
3.2.3 ホスト指定実行

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「ディスカバリ」メニューをクリックします。

ディスカバリのページが表示されます。



2 [ホスト指定実行]をクリックします。



指定ホストディスカバリ画面が表示されます。

3 必要な情報を入力して、[ディスカバリ実行]をクリックします。

指定ホストディスカバリ

ディスカバリ実行

CSV:

IP指定: . . .

ping指定: 行う

1) ソース選択

「CSV」または「IP 指定」のどちらかをラジオボタンで指定します。

- [CSV]の場合は、CSV のファイルパスを手入力、または、[参照]から指定してください。
参照する CSV ファイルには、1 行に 1 つの IP アドレスを記載することで、複数の IP アドレスを記載することができます。
- [IP 指定]の場合は、「0.0.0.0～255.255.255.255」の範囲から半角で指定します。

2) ping 指定の選択

ping による接続確認を実行する場合、チェックしてください。

※定期実行、即時実行ではデフォルトで ping による接続確認となります。

ホスト指定実行が開始し、「ディスカバリ」実行状態画面が表示されます。

4 終了後に、[閉じる] をクリックして画面を閉じます。

「ディスカバリ」実行状態

実行方法: ホスト指定実行
 ステータス: 待機中
 進捗状況パーセンテージ: 100%
 進捗状況処理内容: ディスカバリ 正常終了しました。

終了しました

5 [最新の状態] をクリックします。

ディスカバリのページが更新され、ディスカバリ結果が表示されます。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

状態
デバイス管理
ユーザ管理
カウント集計
JOBログ
システムログ
システム設定

閲覧・変更
ディスカバリ
テンプレート
設定

72件中 1件 目から (全体で 72件)

	デバイス名	IPアドレス	シリアル番号	モデル名	
<input type="checkbox"/>	MFP13458954	■■■■■■■■■■	C1LH12086	TOSHIBA e-STUDIO7516AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP13589794	■■■■■■■■■■	CNGJ60806	TOSHIBA e-STUDIO5015AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP11570618	■■■■■■■■■■	CGAF02073	TOSHIBA e-STUDIO5008A	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP12100220	■■■■■■■■■■	CNAH00033	TOSHIBA e-STUDIO2510AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP13525767	■■■■■■■■■■	CNBJ34594	TOSHIBA e-STUDIO5015AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP13589801	■■■■■■■■■■	CNGJ60802	TOSHIBA e-STUDIO5015AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP12161034	■■■■■■■■■■	CNDH01576	TOSHIBA e-STUDIO5015AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP13464064	■■■■■■■■■■	C1LH12082	TOSHIBA e-STUDIO7516AC	TopAccess
<input type="checkbox"/>	MFP07285367	■■■■■■■■■■	CZF100111	TOSHIBA e-STUDIO656	TopAccess

3.2.4 ディスカバリしたデバイスを個別登録する

ディスクバリしたデバイスを、管理対象として登録します。
登録方法は、「個別登録」と「一括登録」の2つの方法があります。
ここでは、「個別登録」について説明します。

登録方法	説明
個別登録	登録したいデバイスを一つ指定して登録します。

【注意】

ディスクバリしたデバイスを一括登録するには、事前にデバイステンプレートを作成しておく必要があります。

参照 「デバイステンプレートを作成する」

デバイスの日付が誤っていた場合の JOB ログ収集について
デバイス登録後、JOB ログの有効実行日時以降の JOB ログ ID を取得するため、JOB ログの日付を参照します。

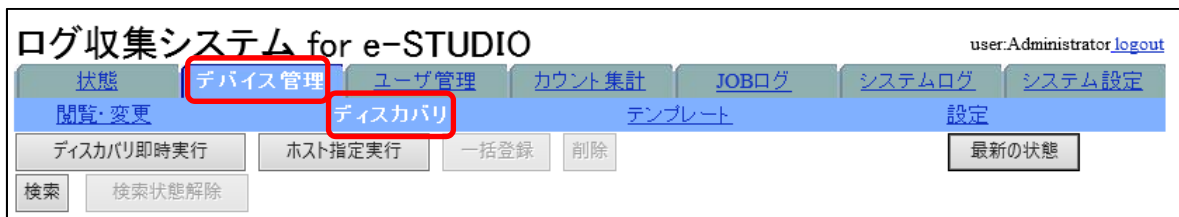
誤って、デバイスの日付が実際の日時よりも前に設定されていた場合、取得する JOB ログが不足する場合があります。その場合、誤って設定した日付の開始日（下記例 2020/1/3）より前の日付（下記例 2020/1/2）をデバイス登録時の JOB ログの有効実行日時に指定してください。

（例）

2020/2/1 2020/2/2 2020/1/3 2020/1/4 2020/2/5 2020/2/6 と設定されていた場合は、2020/1/2 を JOB ログの有効実行日時に設定してください。

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「ディスクバリ」メニューをクリックします。

ディスクバリされたデバイス一覧が表示されます。



2 登録したいデバイス名をクリックします。



ディスクバリされたデバイス情報閲覧・登録画面が表示されます。

【補足】

[検索]を利用して登録したいデバイスを検索することができます。

ディスカバリされたデバイス情報検索

検索 キャンセル 閉じる

デバイス名: を含む ▼

IPアドレス: を含む ▼

シリアル番号: を含む ▼

モデル名: を含む ▼

3 デバイス情報を補完します。

ディスカバリされたデバイス情報閲覧・登録

登録 キャンセル 閉じる

テンプレート: 未使用 ▼

デバイス名:

IPアドレス:

シリアル番号:

モデル名:

デバイスグループ: 所属なし ▼

設置場所:

メーカー名:

ログ収集: OFF ▼

識別名:

機器管理No.:

期間開始日: Cal : :

ログ有効日時: Cal : :

1) テンプレート

使用するテンプレートを選択し、テンプレートの設定を適用できます。テンプレートを事前に登録しておくことで、情報の入力を簡略化することができます。

参照▶ [「デバイステンプレートを作成する」](#)

2) デバイスグループ

デバイスが属するデバイスグループを指定します。

所属させたいデバイスグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するデバイスグループ名を入力してください。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 設置場所

デバイスの設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

4) ログ収集

指定のデバイスでログ収集を行う場合は[ON]を、ログ収集を行わない場合は[OFF]を指定します。

5) 識別名 (必須)

デバイスの識別名を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

6) 機器管理 No. (必須)

デバイスの機器管理 No. を入力します。半角 16 文字まで入力できます。

【注意】

重複する機器管理 No. を登録することはできません。

7) 期間開始日 (必須)

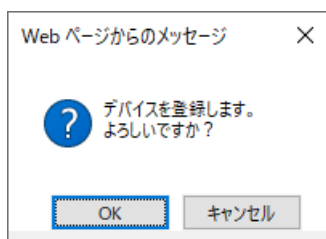
上記で設定したデバイス情報の使用開始日時を設定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal] をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
 - ・時間は、プルダウンメニューから指定します。
- 指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

8) ログ有効日時 (必須)

JOB ログの有効開始日時を指定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal] をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
 - ・時間は、プルダウンメニューから指定します。
- 指定された日時以降の JOB ログを収集対象とします。

4 [登録] をクリックします。**5 [OK] をクリックします。**

デバイス情報が登録されます。

登録されたデバイスは「ディスカバリ」ページの一覧からは削除されます。

3.2.5 ディスカバリしたデバイスを一括登録する

ディスクバリしたデバイスを、管理対象として登録します。
登録方法は、「個別登録」と「一括登録」の2つの方法があります。
ここでは、「一括登録」について説明します。

登録方法	説明
一括登録	登録したいデバイスを複数指定して登録します。

【注意】

ディスクバリしたデバイスを一括登録するには、事前にデバイステンプレートを作成しておく必要があります。

参照 「デバイステンプレートを作成する」

デバイスの日付が誤っていた場合の JOB ログ収集について
デバイス登録後、JOB ログの有効実行日時以降の JOB ログ ID を取得するため、JOB ログの日付を参照します。

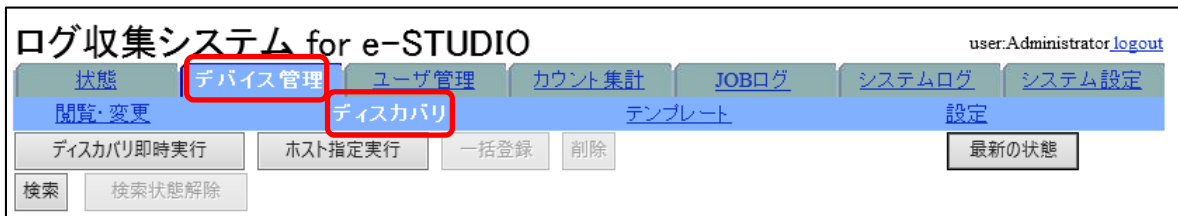
誤って、デバイスの日付が実際の日時よりも前に設定されていた場合、取得する JOB ログが不足する場合があります。その場合、誤って設定した日付の開始日（下記例 2020/1/3）より前の日付（下記例 2020/1/2）をデバイス登録時の JOB ログの有効実行日時に指定してください。

（例）

2020/2/1 2020/2/2 2020/1/3 2020/1/4 2020/2/5 2020/2/6 と設定されていた場合は、2020/1/2 を JOB ログの有効実行日時に設定してください。

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「ディスクバリ」メニューをクリックします。

ディスクバリされたデバイス一覧が表示されます。



2 登録したいデバイスをチェックして、[一括登録]をクリックします。



デバイス一括登録画面が表示されます。

【注意】

一括登録するデバイスの指定は1ページごとに行ってください。一度に複数ページのデバイスを[一括登録]することはできません。

【補足】

[検索]を利用して登録したいデバイスを検索することができます。

ディスカバリされたデバイス情報検索

検索 キャンセル 閉じる

デバイス名: を含む ▼

IPアドレス: を含む ▼

シリアル番号: を含む ▼

モデル名: を含む ▼

3 デバイス情報を補完します。

デバイス一括登録

登録 閉じる

使用するテンプレート: ▼

期間開始日: Cal ▼ : ▼ : ▼

ログ有効日時: Cal ▼ : ▼ : ▼

※各デバイスの機器管理Noを入力して下さい。

デバイス名	IP	model-serial	機器管理No.
MFP11570618	<input type="text"/>	TOSHIBA e-STUDIO5008A-CGAF02073	<input type="text"/>
MFP12100220	<input type="text"/>	TOSHIBA e-STUDIO2510AC-CNAH00033	<input type="text"/>

1) 使用するテンプレート

使用するテンプレートを選択し、テンプレートの設定を適用できます。テンプレートを事前に登録しておくことで、情報の入力を簡略化することができます。

参照 [「デバイステンプレートを作成する」](#)

2) 期間開始日 (必須)

上記で設定したデバイス情報の使用開始日時を設定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

3) ログ有効日時 (必須)

JOB ログの有効開始日時を指定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログを収集対象とします。

4) 機器管理 No. (必須)

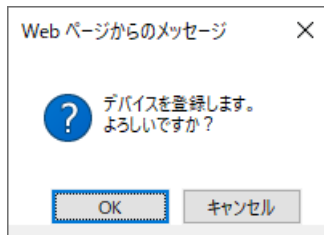
機器管理 No. をそれぞれのデバイスに対して入力します。半角 16 文字まで入力できます。

【注意】

重複する機器管理 No. を登録することはできません。

4 [登録]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



デバイス情報が登録されます。

登録されたデバイスは「ディスカバリ」ページの一覧からは削除されます。

3.3 デバイステンプレートを作成する

ディスカバリされたデバイスの登録時や、デバイス情報の編集時に使用するデバイステンプレートを作成します。テンプレートは最大 20 個作成することができます。

3.3.1 デバイステンプレートの作成方法

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「テンプレート」メニューをクリックします。

テンプレートの設定ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Template' configuration page. The 'Device Management' tab is selected, and the 'Template' menu item is highlighted. The page title is 'ログ収集システム for e-STUDIO' and the user is 'user:Administrator'. The navigation bar includes '状態', 'デバイス管理', 'ユーザ管理', 'カウント集計', 'JOBログ', 'システムログ', and 'システム設定'. The sub-navigation bar includes '閲覧・変更', 'ディスカバリ', 'テンプレート', and '設定'. A '更新' button and a dropdown menu showing 'template01' are visible. The form fields are: 'テンプレート名: template01', '設置場所:', '識別名:', 'デバイスグループ: 所属なし', and 'ログ収集: ON'.

2 [更新]右横のプルダウンメニューから設定するテンプレートを指定します。

The screenshot shows the 'Template' configuration page with the dropdown menu highlighted. The '更新' button and the dropdown menu showing 'template01' are highlighted with a red box. The rest of the page is the same as in the previous screenshot.

3 以下の項目を設定します。



1) テンプレート名

変更したいテンプレート名を入力します。
全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

2) 設置場所

デバイスの設置場所を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 識別名

デバイスの識別名を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

4) デバイスグループ

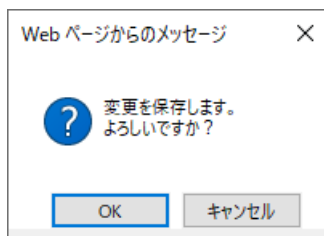
デバイスが属するデバイスグループを指定します。
所属させたいデバイスグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するデバイスグループ名を入力してください。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

5) ログ収集

指定のデバイスでログ収集を行う場合は[ON]を、ログ収集を行わない場合は[OFF]を指定します。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

3.4 ディスカバリと監視通知を設定する

設定では、ディスカバリ機能の有効・無効、ディスカバリの対象ネットワークや自動実行周期と、デバイスを監視し、異常を検知した場合やデバイス情報が自動更新された際の監視通知について設定します。

3.4.1 ディスカバリ機能のセットアップ方法

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。



2 「ディスカバリ」をクリックします。



ディスカバリの設定ページが表示されます。

3 以下の項目を設定します。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

[状態](#) | [デバイス管理](#) | [ユーザ管理](#) | [カウント集計](#) | [JOBログ](#) | [システムログ](#) | [システム設定](#)
[閲覧・変更](#) | [ディスカバリ](#) | [テンプレート](#) | [設定](#)

ディスカバリ | [監視通知](#)

ディスカバリ機能の使用

ディスカバリ有効: ▼

対象ネットワーク

セグメント1: ... ~ ...

セグメント2: ... ~ ...

セグメント3: ... ~ ...

セグメント4: ... ~ ...

セグメント5: ... ~ ...

セグメント6: ... ~ ...

セグメント7: ... ~ ...

セグメント8: ... ~ ...

セグメント9: ... ~ ...

セグメント10: ... ~ ...

ディスカバリ周期

周期: ▼

1) **ディスカバリ機能の使用を指定します。**

ディスカバリの定期実行を使用する場合は[ON]、使用しない場合は[OFF]を指定します。

2) **対象ネットワークを指定します。**

ディスカバリの定期実行の対象となるネットワークのセグメントを 10 個まで指定できます。

「0.0.0.0～255.255.255.255」の範囲から半角で指定します。

【補足】

ディスカバリの即時実行もここで設定されたセグメントを利用します。

【注意】

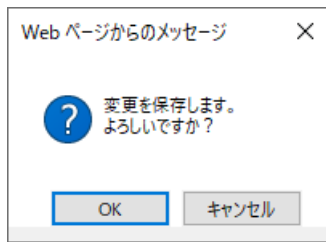
複数のセグメントを設定する場合、IP アドレスが重複するセグメントは設定できません。

3) **ディスカバリ周期を指定します。**

ディスカバリの定期実行を行う周期を指定します。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



設定が適用されます。

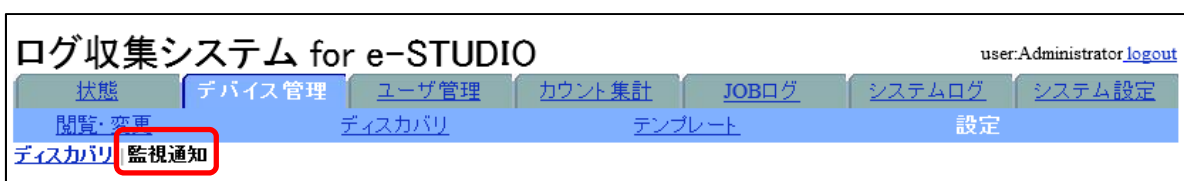
3.4.2 デバイス監視通知の設定方法

1 「デバイス管理」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。



2 「監視通知」をクリックします。

監視通知の設定ページが表示されます。



3 以下の項目を設定します。

user:Administrator [logout](#)

状態 | デバイス管理 | ユーザ管理 | カウント集計 | JOBログ | システムログ | システム設定

閲覧・変更 | ディスカバリ | テンプレート | 設定

ディスカバリ | 監視通知

更新 | キャンセル

監視設定:	監視項目					通知メールアドレス
	通信エラー	収集エラー	ログインエラー	自動更新	0件収集	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

通信エラー判定: 5 日以上通信できない場合に通信エラーとする。

0件収集判定: 3 日以上JOBログ収集件数が0の場合は0件収集とする。

1) 監視項目と通知先メールアドレスを設定します

通知したい監視項目をチェックし、右欄に通知先メールアドレスを入力します。通知先メールアドレスごとに監視項目を設定できます。最大 6 パターンの設定が可能です。メールアドレスは、半角 256 文字まで入力でき、セミコロン「;」区切りで複数の通知先を指定することができます。監視項目は以下です。

監視項目	説明
通信エラー	ログ収集機能が [ON] の管理デバイスにおいて、一定期間通信に失敗し続けた場合に通知します。
収集エラー	ログ収集機能が [ON] の管理デバイスにおいて、JOB ログの収集に失敗した場合に通知します。HTTP (SOAP) の通信時のみに適用されます。
ログインエラー	TopAccess およびコントロールパネルへのログインに失敗した場合に通知します。
自動更新	IP アドレス等のデバイス情報の変更を検出し、自動更新を行った場合に通知します。
0 件収集	ログ収集機能が [ON] の管理デバイスにおいて、一定期間 JOB ログの収集件数 0 件が継続した場合に通知します。

2) 通信エラー判定の日数を設定します。

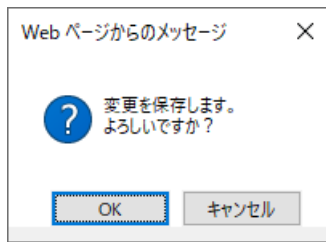
通信に失敗し続けた場合に、[通信エラー]と判断するための閾値を指定します。

3) 0 件収集判定の日数を設定します。

0 件収集が継続した場合に、[0 件収集]と判断するための閾値を指定します。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

4. ユーザ管理

4.1 部門情報を表示する

部門情報の表示方法、検索方法について説明します。

ここで表示する部門情報は、手入力で新規登録した部門情報、または、CSV・LDAPサーバからインポートした部門情報です。

【補足】

部門情報を手入力で新規登録するには「部門情報の新規登録方法」を参照してください。

参照▶ [「部門情報の新規登録方法」](#)

部門情報を CSV や LDAP からインポートするには、「部門情報/ユーザ情報をインポートする」を参照してください。

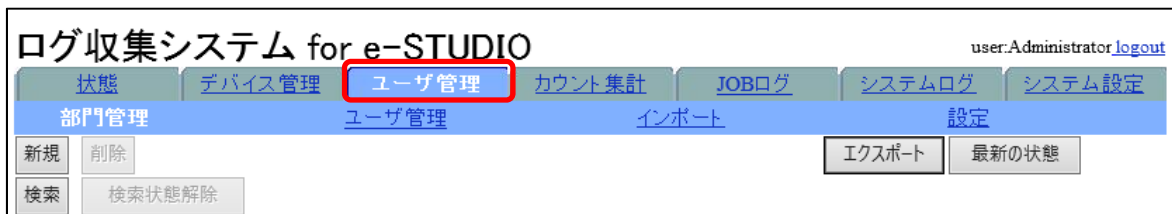
参照▶ [「部門情報/ユーザ情報をインポートする」](#)

4.1.1 部門情報の新規登録方法

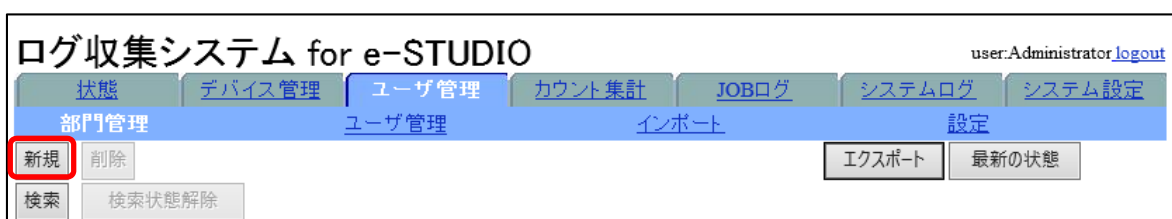
部門情報を管理対象として新規に登録します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

部門管理ページが表示されます。



2 [新規]をクリックします。



部門情報新規作成画面が表示されます。

3 部門情報を入力します。

部門情報新規作成

保存 キャンセル 閉じる

部門名:

部課コード:

上限枚数:

期間開始日: Cal : :

以下の項目を入力します。

1) 部門名

部門名を入力します。全角 128 文字、半角 256 文字まで入力できます。

2) 部課コード

部課コードを入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 上限枚数

部門での月間使用上限枚数を半角で入力します。
上限枚数を規定しない場合は、「0」を入力します。

4) 期間開始日

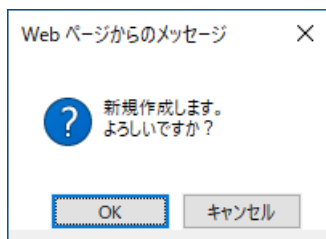
上記で設定した部門情報の使用開始日時を設定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [保存]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



部門情報が新規作成され、登録されます。

4.1.2 部門情報の閲覧方法

部門情報を閲覧する方法について説明します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

部門管理ページが表示されます。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

[状態](#)
[デバイス管理](#)
[ユーザ管理](#)
[カウント集計](#)
[JOBログ](#)
[システムログ](#)
[システム設定](#)

[部門管理](#)
[ユーザ管理](#)
[インポート](#)
[設定](#)

5件中 1件 目から (全体で 5件)

	部門名	部課コード	上限枚数	現在枚数
<input type="checkbox"/>	dept1	0001	10	4
<input type="checkbox"/>	dept2	0002	10	2
<input type="checkbox"/>	dept3	0003	10	2
<input type="checkbox"/>	a	123	0	0
<input type="checkbox"/>	dept4	0004	10	3

項目	説明
部門名	部門名を表示します。
部課コード	部課コードを表示します。
上限枚数	該当部門での紙の月間使用上限枚数を表示します。 上限枚数を規定していない場合は「0」が表示されます。
現在枚数	該当部門での紙の現在使用枚数を表示します。

【補足】

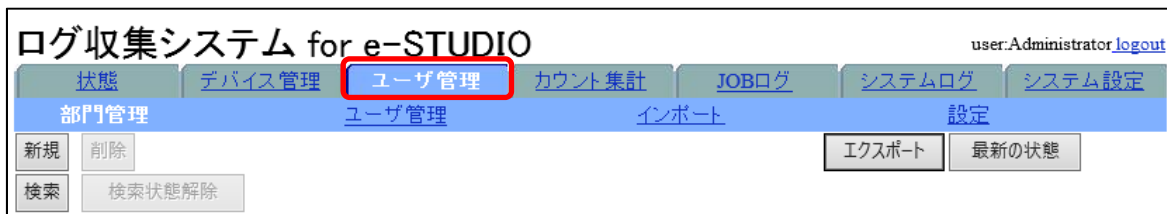
上記、項目名の部分をクリックすると、昇順・降順でソートすることができます。
最新の情報を表示するには、右上の[最新の状態]をクリックします。

4.1.3 部門情報の検索方法

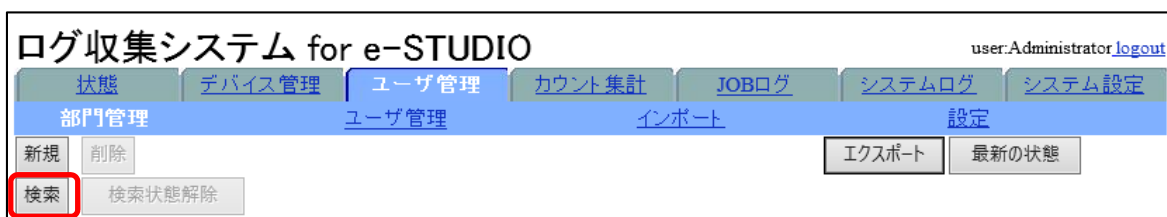
条件を指定して、閲覧したい部門情報を検索し、表示します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

部門管理ページが表示されます。



2 部門管理ページの[検索]をクリックします。



部門情報検索画面が表示されます。

3 検索対象に指定する項目をチェックします。

部門情報検索

検索 キャンセル 閉じる

部門名: を含む ▼

部課コード: を含む ▼

上限枚数: 以上 以下

現在枚数: 以上 以下

使用枚数比: 上限枚数 %以上

【補足】

検索対象を複数指定することができます。

検索対象を複数選択した場合は、選択したすべての項目の条件に合致する部門が検索されます。

4 検索条件を入力します。

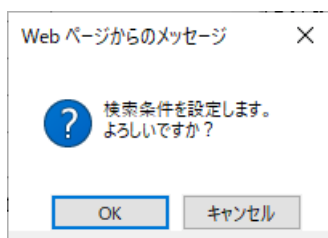
- ① [部門名]、[部課コード]のいずれかで検索する場合
検索文字列を入力し、右横のプルダウンメニューから検索方法を指定します。
- ② [上限枚数]、[現在枚数]のいずれかで検索する場合
検索する下限枚数と上限枚数の範囲、またはどちらか一方を半角で入力します。
- ③ [使用枚数比]で検索する場合
上限枚数に対する現在の使用比率を半角 0～100 の範囲で指定します。

【補足】

部門情報検索では、大文字・小文字・半角・全角を区別しません。

5 [検索]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。



検索を開始し、検索結果ページが表示されます。

【補足】

閲覧ページ上で、部門名以外で検索条件に指定したい項目の欄をクリックすると、その条件と同じデバイス情報が絞り込み検索されます。
検索状態を解除し、すべての部門情報を表示させるには、[検索状態解除]をクリックします。

4.1.4 部門情報の編集方法

現在有効な部門情報を編集します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

部門管理ページが表示されます。



2 編集したい部門名をクリックします。



部門情報閲覧・編集画面が表示されます。

3 部門情報を編集します。

部門情報閲覧・編集

更新 キャンセル 閉じる

部門名: dept1

部課コード: 0001

上限枚数: 10

期間開始日: 2019/10/28 Cal 23 : 58 : 20

以下の項目が編集可能です。

1) 部門名

部門名を入力します。全角 128 文字、半角 256 文字まで入力できます。

2) 部課コード

部課コードを入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 上限枚数

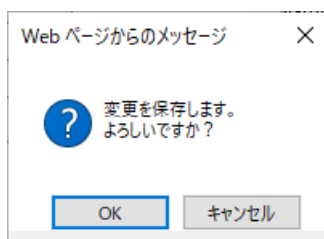
部門での月間使用上限枚数を半角で入力します。
上限枚数を規定しない場合は、「0」を入力します。

4) 期間開始日

上記で設定した部門情報の使用開始日時を設定します。
・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
・時間は、プルダウンメニューから指定します。
指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます

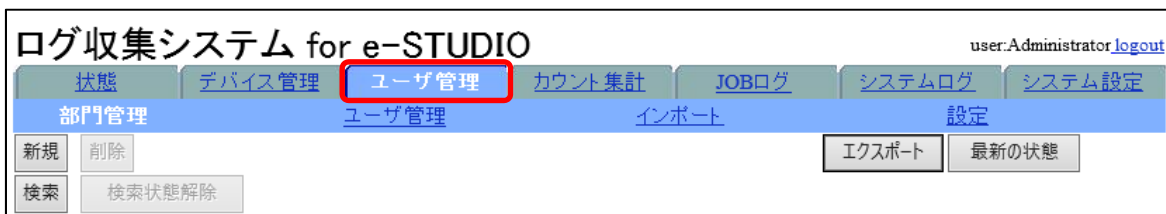
4.1.5 部門情報を指定削除する

部門情報を管理対象から削除します。ここでは、「指定削除」について説明します。

削除方法	説明
指定削除	削除したい部門情報を一件以上指定して削除します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

部門管理ページが表示されます。



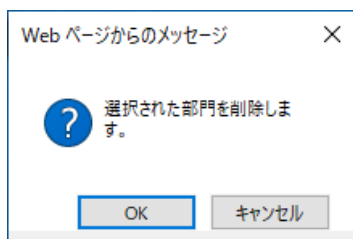
2 削除したい部門情報をチェックし、[削除]をクリックします。



【注意】

削除するデバイスの指定は1ページごとに行ってください。一度に複数ページの部門情報を[削除]することはできません。

3 [OK]をクリックします。



部門情報が削除されます。

4.1.6 部門情報をエクスポートする

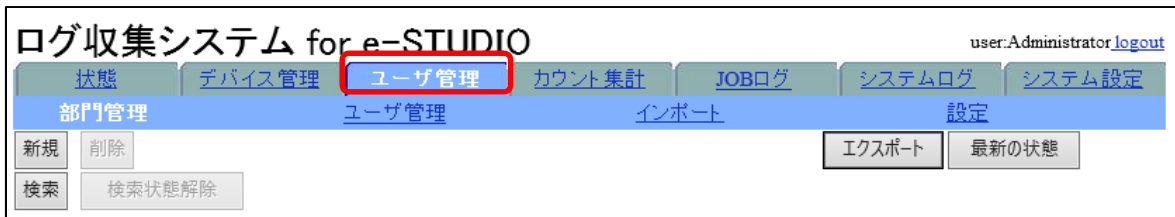
本システムで管理している部門情報を CSV ファイルにエクスポートすることができます。

【補足】

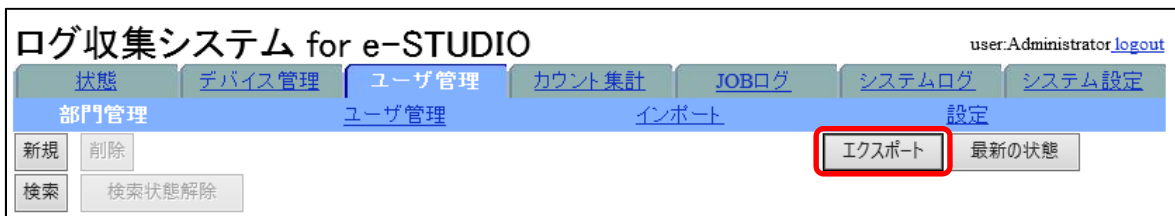
エクスポート可能な行数の上限は 65530 行です。

1 「ユーザ管理」タブをクリックします。

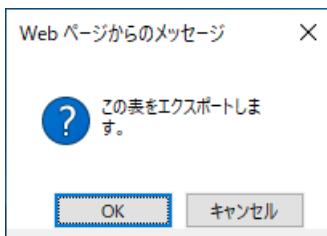
部門管理ページが表示されます。



2 [エクスポート]をクリックします。



3 [OK]をクリックします。



部門情報の出力処理が開始されます。ファイルダウンロードの画面に従い、ファイルを開くか、または、保存するかを指定します。

【補足】

CSV ファイルは以下の形式でエクスポートされます。
※ヘッダー行の先頭には、#(シャープ)が付与されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	#UserId	UserName	UserGroup	DepartmentCode	DepartmentName	LimitCount	UseCount

4.1.7 部門情報を自動更新する

LDAP サーバから部門情報を毎日定時に自動更新します。

【注意】

部門情報の自動更新中は、部門情報の新規登録、編集、削除を実行することはできません。

自動更新の設定方法については「ネットワークの設定方法」を参照してください。

- 参照** 「ネットワークの設定方法」
- 1) LDAP を設定する
 - 2) LDAP (共通) を設定する

更新される情報については「部門情報/ユーザ情報をインポートする」のソース元に LDAP サーバを指定した場合を参照してください。

- 参照** 「部門情報/ユーザ情報をインポートする」

【補足】

自動更新により変更があった情報の部課コードがシステムログに出力されます。

4.2 ユーザ情報を表示する

ユーザ情報の閲覧方法、検索方法について説明します。

ここで表示するユーザ情報は、手入力で新規登録したユーザ情報、または、CSV・LDAPサーバからインポートしたユーザ情報です。

【補足】

ユーザ情報を手入力で新規登録するには「ユーザ情報の新規登録方法」を参照してください。

参照▶ [「ユーザ情報の新規登録方法」](#)

ユーザ情報を CSV や LDAP からインポートするには、「部門情報/ユーザ情報をインポートする」を参照してください。

参照▶ [「部門情報/ユーザ情報をインポートする」](#)

4.2.1 ユーザ情報の閲覧方法

ユーザ情報を閲覧する方法について説明します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

ユーザ管理ページが表示されます。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

[状態](#) [デバイス管理](#) **[ユーザ管理](#)** [カウント集計](#) [JOBログ](#) [システムログ](#) [システム設定](#)

[部門管理](#) **[ユーザ管理](#)** [インポート](#) [設定](#)

4件中 1件 目から (全体で 4件)

	ユーザ名	ユーザID	部門名	ユーザグループ	上限枚数	現在枚数
<input type="checkbox"/>	user1	01	dept1	所属なし	10	6
<input type="checkbox"/>	user2	02	dept2	所属なし	10	6
<input type="checkbox"/>	user3	03	dept3	所属なし	10	2
<input type="checkbox"/>	user4	04	dept4	所属なし	10	3

項目	説明
ユーザ名	ユーザ名を表示します。
ユーザ ID	ユーザ ID を表示します。
部門名	ユーザの属する部門名を表示します。
ユーザグループ	ユーザが属するユーザグループ名を表示します。
上限枚数	該当ユーザの紙の月間使用上限枚数を表示します。 上限枚数を規定していない場合は「0」が表示されます。
現在枚数	該当ユーザの紙の現在使用枚数を表示します。

【補足】

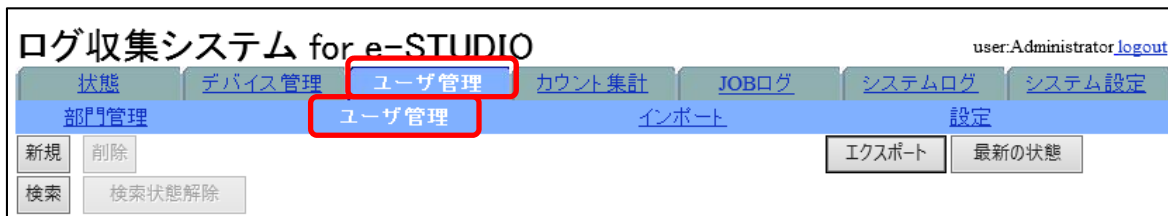
上記、項目名の部分をクリックすると、昇順・降順でソートすることができます。最新の情報を表示するには、右上の[最新の状態]をクリックします。

4.2.2 ユーザ情報の新規登録方法

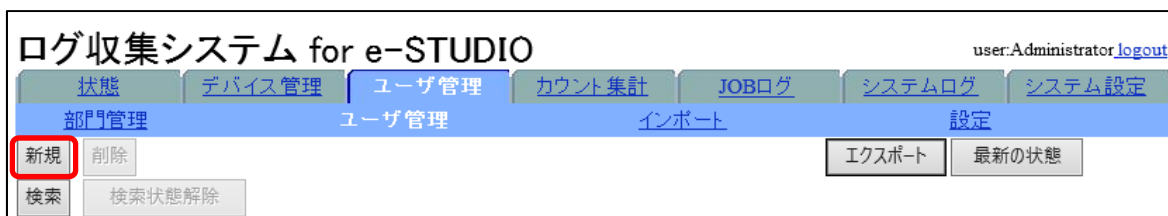
ユーザ情報を管理対象として新規に登録します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

ユーザ管理ページが表示されます。



2 [新規]をクリックします。



ユーザ情報新規作成画面が表示されます。

3 ユーザ情報を入力します。

ユーザ情報新規作成

保存 キャンセル 閉じる

ユーザ名:

ユーザID:

部門名: ▼

ユーザグループ: ▼

上限枚数:

期間開始日: Cal ▼ : ▼ : ▼

以下の項目を入力します。

1) ユーザ名

ユーザ名を入力します。全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。

【補足】

先頭に#（シャープ）が付くユーザ名を登録することはできません。

2) ユーザ ID

ユーザ ID を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 部門名

ユーザの属する部門名を指定します。

所属する部門名が存在しない場合は、部門情報を新規に登録するか、または、インポートして部門を登録してください。

参照 「部門情報の新規登録方法」

参照 「部門情報/ユーザ情報をインポートする」

4) ユーザグループ

ユーザが属するユーザグループを指定します。

所属するユーザグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するユーザグループ名を入力してください。全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。

5) 上限枚数

ユーザの月間使用上限枚数を半角で入力します。
上限枚数を規定しない場合は、「0」を入力します。

6) 期間開始日

上記で設定したユーザ情報の使用開始日時を設定します。

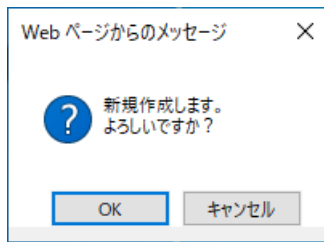
・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [保存]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



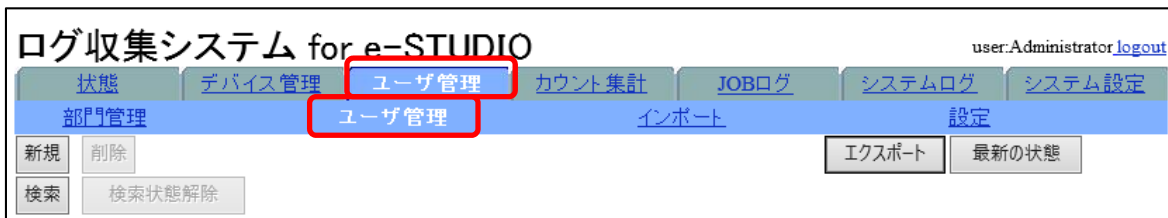
ユーザ情報が新規作成され、登録されます。

4.2.3 ユーザ情報の検索方法

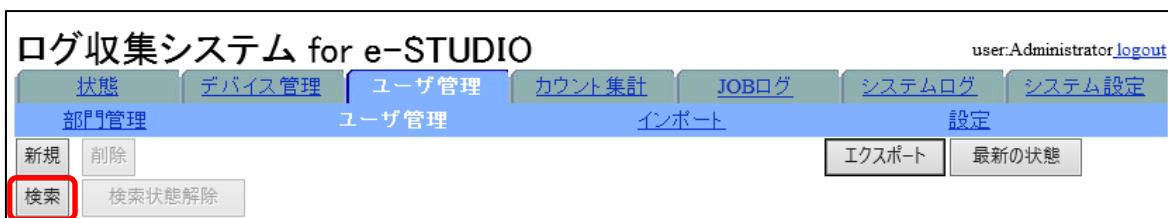
条件を指定して、閲覧したいユーザ情報を検索し、表示します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

ユーザ管理ページが表示されます。



2 ユーザ管理ページの[検索]をクリックします。



ユーザ情報検索画面が表示されます。

3 検索対象に指定する項目をチェックします。

ユーザ情報検索		
<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>	<input type="button" value="閉じる"/>
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザ名:	<input type="text"/>	<input type="button" value="を含む"/> ▼
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザID:	<input type="text"/>	<input type="button" value="を含む"/> ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 部門名:	<input type="text" value="所属なし"/> ▼	<input type="button" value="のものすべて"/> ▼
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザグループ:	<input type="text" value="所属なし"/> ▼	<input type="button" value="のものすべて"/> ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 上限枚数:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下	
<input checked="" type="checkbox"/> 現在枚数:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下	
<input checked="" type="checkbox"/> 使用枚数比:	上限枚数 <input type="text"/> %以上	

【補足】

検索対象を複数指定することができます。

検索対象を複数選択した場合は、選択したすべての項目の条件に合致するユーザが検索されます。

4 検索条件を入力します。

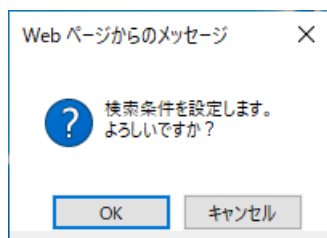
- ① [ユーザ名]、[ユーザ ID]のいずれかで検索する場合
検索文字列を入力し、右横のプルダウンメニューから検索方法を指定します。
- ② [部門名]、[ユーザグループ]のいずれかで検索する場合
検索条件を選択し、右横のプルダウンメニューから検索方法を指定します。
- ③ [上限枚数]、[現在枚数]のいずれかで検索する場合
検索する下限枚数と上限枚数の範囲、またはどちらか一方を半角で入力します。
- ④ [使用枚数比]で検索する場合
上限枚数に対する現在の使用比率を半角「0～100」の範囲で指定します。

【補足】

ユーザ情報検索では、大文字・小文字・半角・全角を区別しません。

5 [検索]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。



検索を開始し、検索結果ページが表示されます。

【補足】

閲覧ページ上で、ユーザ名以外で検索条件に指定したい項目の欄をクリックすると、その条件と同じユーザ情報が絞り込み検索されます。

検索状態を解除し、すべてのユーザ情報を表示させるには、[検索状態解除]をクリックします。

4.2.4 ユーザ情報の編集方法

現在有効なユーザ情報を編集します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

ユーザ管理ページが表示されます。



2 編集したいユーザ名をクリックします。



ユーザ情報閲覧・編集画面が表示されます。

3 ユーザ情報を編集します。

ユーザ情報閲覧・編集

更新 キャンセル 閉じる

ユーザ名:

ユーザID:

部門名: ▼

ユーザグループ: ▼

上限枚数:

期間開始日: Cal ▼ : ▼ : ▼

以下の項目が編集可能です。

1) ユーザ名

ユーザ名を入力します。全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。

【補足】

先頭に#（シャープ）が付くユーザ名を登録することはできません。

2) ユーザ ID

ユーザ ID を入力します。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。

3) 部門名

ユーザの属する部門名を指定します。

所属する部門名が存在しない場合は、部門情報を新規に登録するか、または、インポートして部門を登録してください。

参照 「部門情報の新規登録方法」

参照 「部門情報/ユーザ情報をインポートする」

4) ユーザグループ

ユーザが属するユーザグループを指定します。

所属するユーザグループが存在しない場合は、プルダウンメニューから[新規作成]を指定し、右欄に新規作成するユーザグループ名を入力してください。全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。

5) 上限枚数

ユーザの月間使用上限枚数を半角で入力します。

上限枚数を規定しない場合は、「0」を入力します。

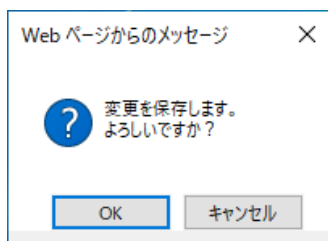
6) 期間開始日

上記で設定したユーザ情報の使用開始日時を設定します。

・年月日は、YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

4 [更新]をクリックします。**5 [OK]をクリックします。**

変更が保存されます。

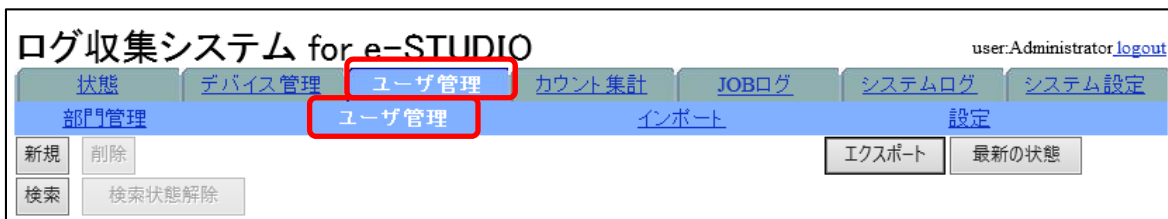
4.2.5 ユーザ情報を指定削除する

ユーザ情報を管理対象から削除します。ここでは、「指定削除」について説明します。

削除方法	説明
指定削除	削除したいユーザ情報を一件以上指定して削除します。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

ユーザ管理ページが表示されます。



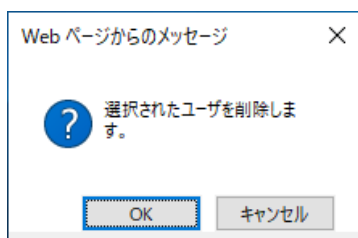
2 削除したいユーザ情報をチェックして、[削除]をクリックします。



【注意】

削除するユーザの指定は1ページごとに行ってください。一度に複数ページのユーザ情報を[削除]することはできません。

3 [OK]をクリックします。



ユーザ情報が削除されます。

4.2.6 ユーザ情報をエクスポートする

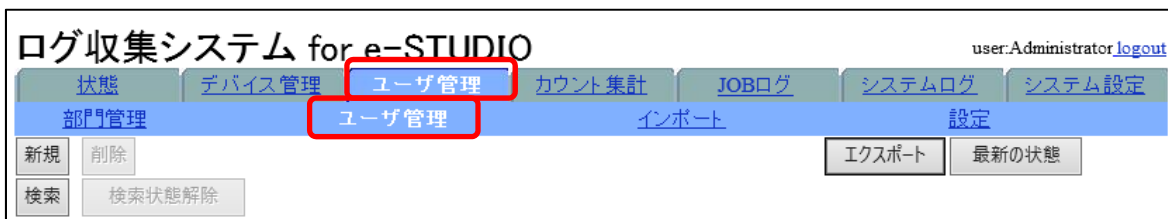
本システムで管理しているユーザ情報を CSV ファイルにエクスポートすることができます。

【補足】

エクスポート可能な行数の上限は 65530 行です。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「ユーザ管理」メニューをクリックします。

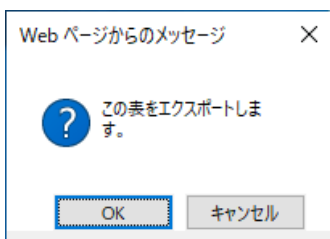
ユーザ管理ページが表示されます。



2 [エクスポート]をクリックします。



3 [OK]をクリックします。



ユーザ情報の出力処理が開始されます。ファイルダウンロードの画面に従い、ファイルを開くか、または、保存するかを指定します。

【補足】

CSV ファイルは以下の形式でエクスポートされます。
 ※ヘッダー行の先頭には、#(シャープ)が付与されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	#UserId	UserName	UserGroup	DepartmentCode	DepartmentName	LimitCount	UseCount

4.2.7 ユーザ情報を自動更新する

LDAP サーバからユーザ情報を毎日定時に自動更新します。

【注意】

ユーザ情報の自動更新中は、ユーザ情報の新規登録、編集、削除を実行することはできません。

自動更新の設定方法については「ネットワークの設定方法」を参照してください。

- 参照**▶ 「ネットワークの設定方法」
- 1) LDAP を設定する
 - 2) LDAP (共通) を設定する

更新される情報については「部門情報/ユーザ情報をインポートする」のソース元に LDAP サーバを指定した場合を参照してください。

- 参照**▶ 「部門情報/ユーザ情報をインポートする」

【補足】

自動更新により変更があった情報のユーザ ID がシステムログに出力されます。

4.3 インポートする

部門情報/ユーザ情報を CSV ファイル、または LDAP サーバからインポートすることができます。

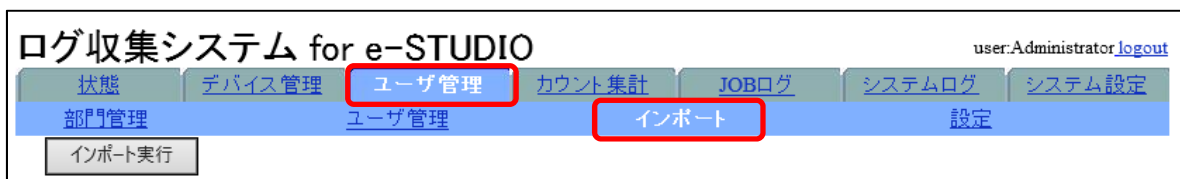
4.3.1 部門情報/ユーザ情報をインポートする

【補足】

先頭に#（シャープ）が付いているユーザ名をインポートすることはできません。

1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「インポート」メニューをクリックします。

インポートページが表示されます。



2 以下の項目を指定、入力します。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

[状態](#) [デバイス管理](#) [ユーザ管理](#) [カウント集計](#) [JOBログ](#) [システムログ](#) [システム設定](#)
[部門管理](#) [ユーザ管理](#) [インポート](#) [設定](#)

[インポート実行](#)

インポート種別: 部門情報 ユーザ情報

ソース選択: CSV LDAPサーバ [参照...](#)

上書き指定: 上書きする

※上書きを指定しない場合、インポートするデータに含まれないデータベース上のデータは削除されます。

期間開始日: 2019/11/28 Cal 15 : 50 : 22

1) インポート種別

インポートする情報を「部門情報」および「ユーザ情報」のチェックボックスで指定します。

2) ソース選択

ユーザ情報のインポート元を「CSV」または「LDAP サーバ」のどちらかをラジオボタンで指定します。

- [CSV]の場合は使用する CSV のファイルパスを指定してください。
- [LDAP サーバ]の場合は、使用する LDAP サーバの設定を行う必要があります。「ネットワークの設定方法」から使用する LDAP サーバの設定および LDAP（共通）設定を行ってください。

参照 [「ネットワークの設定方法」](#)

- 1) LDAP を設定する
- 2) LDAP（共通）を設定する

新規ユーザの「月間上限枚数」には「0」が設定されます。

【補足】

インポートする CSV ファイルには、以下の情報順で記載してください。
(エクスポートした CSV ファイルを使うことをお勧めします。)

	A	B	C	D	E	F	G
1	#UserId	UserName	UserGroup	DepartmentCode	DepartmentName	LimitCount	UseCount

- ヘッダー行の先頭には、#(シャープ)を付与してください。先頭に#を付与されている行はインポートされません。
- インポートには、「UseCount」の情報は使用しません。
- 部門情報のインポートには、「UserId」/「UserName」/「UserGroup」の情報は使用しません。

3) 上書き指定

現在のユーザ情報にインポートする部門情報を上書きする場合は、上書き指定のチェックボックスをチェックします。

4) 期間開始日

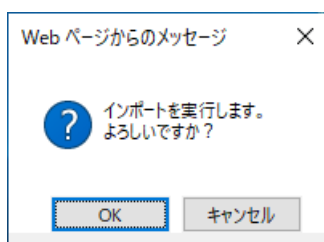
インポートするデータの使用開始日を指定します。

- ・年月日は、YYYY/MM/DD(半角)で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。
- ・時間は、プルダウンメニューから指定します。

指定された日時以降の JOB ログにデバイス情報を紐付けます。

3 [インポート実行]をクリックします。**【補足】**

「ユーザ管理」タブの「ユーザ管理」メニューで[文字変換]にチェックを入れている場合、ユーザインポート機能利用に MFPSystem.ini で指定した文字を検出すると、文字変換を行い通知メールアドレスに通知します。

4 [OK]をクリックします。

インポートが実行されます。

5 「ユーザ・部門情報更新」実行状態画面が表示されたら、[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

「ユーザ・部門情報更新」実行状態

実行方法: 即時実行
ステータス: 待機中
進捗状況パーセンテージ: 100%
進捗状況処理内容: Import read failure from LDAP authentication server

終了しました

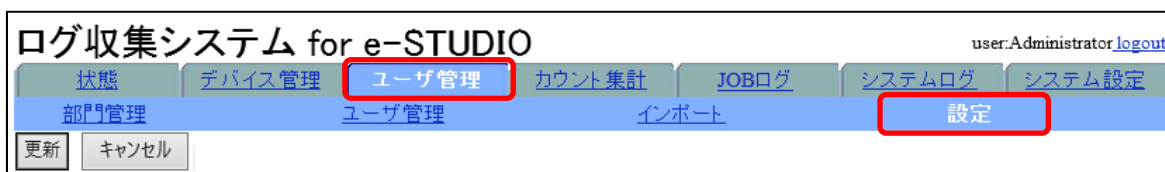
4.4 設定する

本システムにユーザ情報などをインポートしたとき、文字変換を行ったことを通知するメールアドレスを設定します。

4.4.1 通知メールアドレスを設定する

ユーザインポート機能利用に MFPSystem.ini で指定されている文字を検出すると、文字変換を行い通知メールアドレスに通知します。

- 1 「ユーザ管理」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。
設定ページが表示されます。



- 2 以下の項目を指定、入力します。



- 1) 監視項目/文字変換
文字変換でメールを送信する場合にチェックボックスをチェックします。
- 2) 通知メールアドレス
通知するメールアドレスを入力します。
半角 256 文字まで入力でき、セミコロン「;」区切りで複数の通知先を指定することができます。

- 3 [更新]をクリックします。

5. カウント集計

5.1 カウント集計を表示する

収集した JOB ログを使用して、指定した期間の紙の使用枚数や面数を集計し、表示します。集計期間、単位、出力させる枚数情報、面数情報を指定して表示します。表示した結果は CSV ファイルとして出力することができます。

デバイスから収集した JOB ログを使用して、月ごとの紙の使用枚数や面数情報の収集・集計を行うカウント集計の方法について説明します。

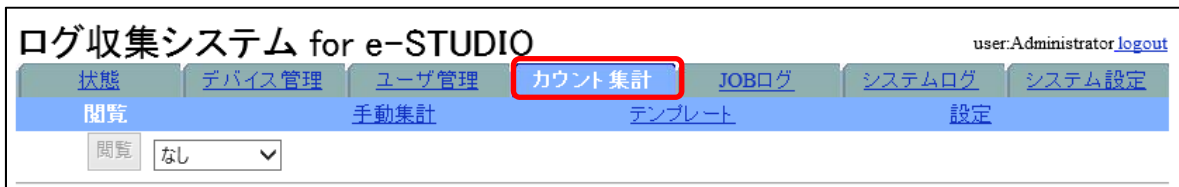
5.2 カウント集計を閲覧する

カウント集計の閲覧方法を説明します。

5.2.1 カウント集計の閲覧方法

1 「カウント集計」タブをクリックします。

カウント集計の閲覧ページが表示されます。



2 集計条件を指定します。



閲覧する期間や集計を行う対象、閲覧結果に出力する項目などを指定します。

集計条件の指定方法

1) テンプレート

[閲覧]右横のプルダウンメニューから使用するテンプレートを選択し、テンプレートを適用できます。

参照▶「[カウント集計テンプレートを作成する](#)」

2) 最終集計期間

最終集計期間は締日設定を行っている場合に反映されます。
表示される期間は締日設定により異なります。

共通設定：指定した締日までの期間

詳細設定：実施年月日の前日までの期間

参照▶「[カウント集計の管理設定を行う](#)」

3) 集計期間

集計する期間の開始日と終了日を設定します。

・年月日を YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

4) 集計対象

集計対象とする項目を指定します。

[デバイスグループ]、[デバイス]、[部門]、[ユーザグループ]、[ユーザ]、[JOB 種別]の指定が可能です。

以下はデバイス絞り込み指定の例です。

The screenshot shows the configuration page for collection conditions. At the top, it displays the '最終集計期間' (Final Collection Period) as '(なし)' (None). Below that, the '集計期間' (Collection Period) is set to '2019/11/28' to '2019/11/28', with 'Cal' buttons for calendar selection. The '集計対象' (Collection Target) section is divided into several categories:

- デバイスグループ** (Device Group): すべてのデバイスグループ, 選択指定 (未選択です)
- デバイス** (Device): すべてのデバイス, 選択指定 (未選択です) - This section is highlighted with a red box.
- 部門** (Department): すべての部門, 選択指定 (未選択です)
- ユーザグループ** (User Group): すべてのユーザグループ, 選択指定 (未選択です)
- ユーザ** (User): すべてのユーザ, 選択指定 (未選択です)
- JOB種別** (Job Type): すべてのJOB種別, 選択指定 (未選択です)

デバイス絞り込み指定

デバイスグループによる絞り込み

対象

デバイス名
 IPアドレス
 シリアル番号
 モデル名
 デバイスグループ
 設置場所
 メーカー名
 識別名
 機器管理No.

一覧表示

5件中 1件 目から (全体で 5件)

デバイス名	IPアドレス	シリアル番号	モデル名	デバイスグループ	設置場所	メーカー名	識別名	機器管理No.
<input type="checkbox"/> MFP-06944598		CQD910022	TOSHIBA e-STUDIO455	EB3 group	EB3 drive	TOSHIBA	EB3	136
<input type="checkbox"/> MFP11722176		CFFF39399	TOSHIBA e-STUDIO5005AC	EEN group	EEN drive	TOSHIBA	EEN	239
<input type="checkbox"/> MFP07543635		C7D204010	TOSHIBA e-STUDIO2050C	EBX group	EBX drive	TOSHIBA	EBX	61
<input type="checkbox"/> MFP13565987		C1EJ15240	TOSHIBA e-STUDIO5516AC	EEN2 group	tsiptec	TOSHIBA	EEN2	85
<input type="checkbox"/> その他	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)

選択中

MFP-06944598
MFP11722176

【補足】

デバイス絞り込み指定の検索では、大文字・小文字を区別しません。

5) 出力項目 (0 枚のデータも出力)

- 利用実績のない集計対象も出力する場合は、ここを指定します。

6) キー項目

閲覧結果に表示させたいキー項目を選択し、[追加]をクリックします。キー項目の選択リスト単位、リスト順で集計結果が出力されます。

- キー項目は複数指定することができます。
- [追加]したキー項目を削除するには、削除したいキー項目を選択し、[削除]をクリックします。
- [追加]したキー項目の順序を変更するには、順序を変更したいキー項目を選択し、選択リスト右側の[▲][▼]をクリックします。

7) 出力項目

閲覧結果に表示させたい出力項目を選択し、[追加]をクリックします。出力項目の選択リスト単位、リスト順で集計結果が出力されます。

- 出力項目は複数指定することができます。
- [追加]した出力項目を削除するには、削除したい出力項目を選択し、[削除]をクリックします。
- [追加]した出力項目の順序を変更するには、順序を変更したい出力項目を選択し、選択リスト右側の[▲][▼]をクリックします。

3 閲覧ページ左上の[閲覧]をクリックします。

ログ収集システム for e-STUDIO user:Administrator [logout](#)

[状態](#) | [デバイス管理](#) | [ユーザ管理](#) | [カウント集計](#) | [JOBログ](#) | [システムログ](#) | [システム設定](#)
[閲覧](#) | [手動集計](#) | [テンプレート](#) | [設定](#)

なし ▼

最終集計期間: (なし)

集計期間: 2019/11/28 Cal ~ 2019/11/28 Cal

集計対象: デバイスグループ デバイス

すべてのデバイスグループ すべてのデバイス
 [選択指定](#) [選択指定](#)
 未選択です ▼ MFP-06944598 ▼

部門 ユーザグループ ユーザ

すべての部門 すべてのユーザグループ すべてのユーザ
 [選択指定](#) [選択指定](#) [選択指定](#)
 未選択です ▼ 未選択です ▼ 未選択です ▼

JOB種別

すべてのJOB種別
 [選択指定](#)
 未選択です ▼

出力項目: 0枚のデータも出力

キー項目:

	追加>>	ユーザ名 ユーザID ユーザグループ 部門名 部課コード デバイス管理No デバイス識別名 デバイスグループ JOB種別 カラーモード MFP部課コード MFP部門名 課金部門 ジョブコード デバイス名 IPアドレス	▲ ▼
	<<削除		

出力項目:

	追加>>	ページ数合計 ページ集約毎のページ数 用紙サイズ毎のページ数 用紙種類毎のページ数 枚数合計 月間上限枚数 印刷方法毎の枚数 用紙サイズ毎の枚数	▲ ▼
	<<削除		

5.3 カウント集計の手動集計を行う

カウント集計の手動集計方法について説明します。

集計結果は CSV ファイルとして出力され、サーバへ保存されます。

また、通知先メールアドレス欄にメールアドレスを記載した場合には、メールでの送信も行われます。

カウント集計の方法には 2 つの方法があります。

自動集計と手動集計は併用できません。

集計方法	説明
自動集計	毎月の集計を行う日時を設定し、設定に従って集計処理を実行します。 参照 ▶「 カウント集計の管理設定を行う 」
手動集計	集計期間と集計月度を指定し、即時で集計を実行します。 参照 ▶「 カウント集計の手動集計を行う 」

【注意】

カウント集計を行うには、あらかじめテンプレートメニューからテンプレートの作成を行ってください。

参照▶「[カウント集計テンプレートを作成する](#)」

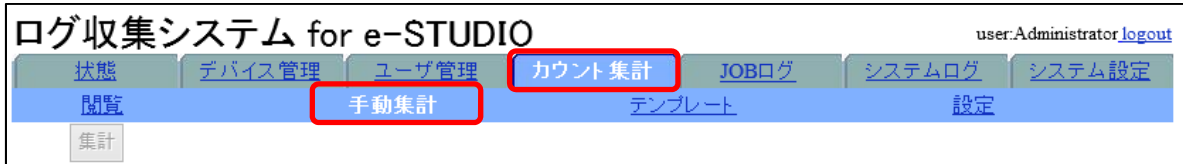
カウントの自動集計中に、手動集計を行うことはできません。自動集計中に手動でカウントの集計を確認するには、「カウント集計」から「閲覧」メニューを選び、集計条件を指定してから閲覧ページ左上の[閲覧]をクリックして表示される「カウント集計結果」画面でエクスポートしてください。

エクスポート可能な行数の上限は 65530 行です。

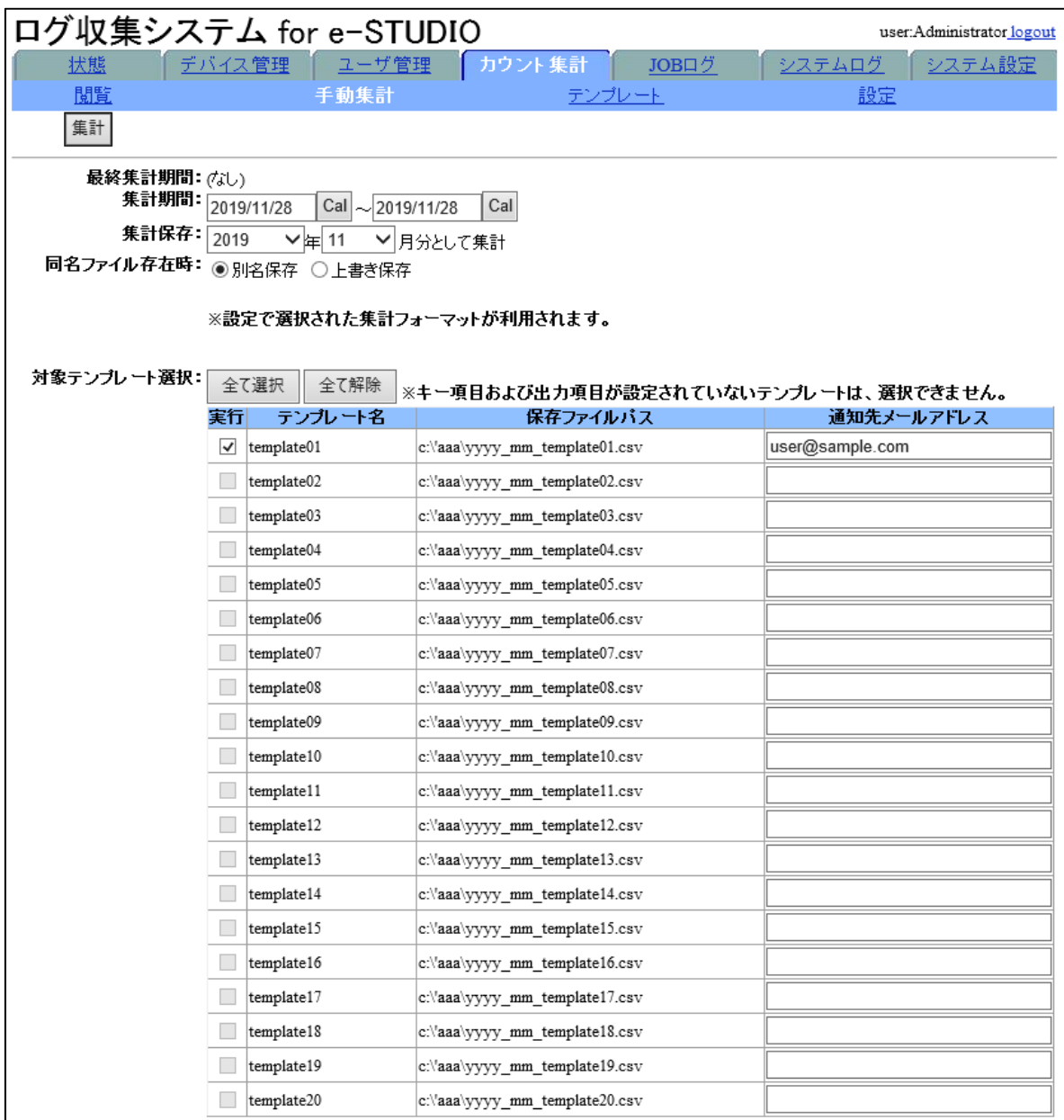
5.3.1 カウント集計の手動集計方法

1 「カウント集計」タブをクリックし、「手動集計」メニューをクリックします。

手動集計ページが表示されます。



2 集計方法を指定します。



集計条件の指定方法

1) 集計期間

集計する期間の開始日と終了日を設定します。

- ・年月日を YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

2) 集計保存

集計結果を何年何月度として集計するかを指定します。

3) 同名ファイル存在時

集計結果の保存ファイル名が重複した場合の動作を、「別名保存」または「上書き保存」のどちらかをラジオボタンで指定します。

- [別名保存]の場合は、ファイル名と拡張子の間に数字を挿入します。
ファイル名_数字.csv
- [上書き保存]の場合は、ファイル名を変更せず、古いファイルを上書きします。

4) 対象テンプレート選択

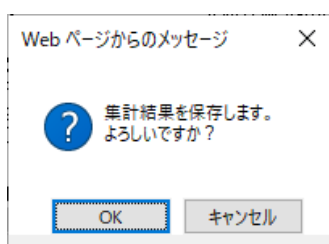
集計したいテンプレートをチェックし、右欄に送信先メールアドレスを入力します。半角 256 文字まで入力でき、セミコロン「;」区切りで複数の通知先を指定することができます。

* メールで送信するには、事前に SMTP の設定を行う必要があります。

参照▶ [「ネットワークの設定方法」](#) 4) SMTP を設定する

3 [集計]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。



集計結果が保存されます。

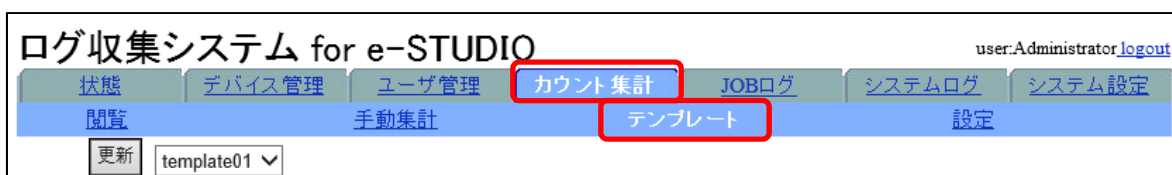
5.4 カウント集計テンプレートを作成する

カウント情報の集計や閲覧で使用するテンプレートを作成します。集計を行う対象や集計のキーとなる項目、出力する項目の組み合わせを設定することができます。テンプレートは最大 20 個作成することができます。

5.4.1 カウント集計テンプレートの作成方法

1 「カウント集計」タブをクリックし、「テンプレート」メニューをクリックします。

テンプレートの設定ページが表示されます。



2 [更新]右横のプルダウンメニューから設定するテンプレートを指定します。

The screenshot shows the 'Template Settings' page for 'template01'. The '更新' (Update) button and the 'template01' dropdown menu are highlighted with red boxes. The page contains several configuration sections:

- テンプレート名:** template01
- 集計対象:** デバイスグループ (Device Group) and デバイス (Device). Both have radio buttons for 'すべてのデバイスグループ' and 'すべてのデバイス', and a '選択指定' (Select) option with a dropdown menu.
- 部門:** (Department) with radio buttons for 'すべての部門' and '選択指定'.
- ユーザグループ:** (User Group) with radio buttons for 'すべてのユーザグループ' and '選択指定'.
- ユーザ:** (User) with radio buttons for 'すべてのユーザ' and '選択指定'.
- JOB種別:** (Job Type) with radio buttons for 'すべてのJOB種別' and '選択指定'.

3 以下の項目を設定します。

1) テンプレート名

テンプレート名を変更できます。変更したいテンプレート名を入力します。

2) 集計対象

集計対象とする項目を指定します。

[デバイスグループ]、[デバイス]、[部門]、[ユーザグループ]、[ユーザ]、[JOB 種別]の指定が可能です。

以下はデバイス絞り込み指定の例です。

集計対象: デバイスグループ

すべてのデバイスグループ
 すべてのデバイス

選択指定
 選択指定

部門

すべての部門
 すべてのユーザグループ
 すべてのユーザ

選択指定
 選択指定
 選択指定

JOB種別

すべてのJOB種別

選択指定

デバイス絞り込み指定

デバイスグループによる絞り込み

対象

デバイス名
 IPアドレス
 シリアル番号
 モデル名
 デバイスグループ
 設置場所
 メーカー名
 識別名
 機器管理No.

一覧表示

5件中 1件 目から (全体で 5件)

デバイス名	IPアドレス	シリアル番号	モデル名	デバイスグループ	設置場所	メーカー名	識別名	機器管理No.
<input type="checkbox"/> MFP-06944598		CQD910022	TOSHIBA e-STUDIO455	EB3 group	EB3 drive	TOSHIBA	EB3	136
<input type="checkbox"/> MFP11722176		CFF39399	TOSHIBA e-STUDIO5005AC	EEN group	EEN drive	TOSHIBA	EEN	239
<input type="checkbox"/> MFP07543635		C7D204010	TOSHIBA e-STUDIO2050C	EBX group	EBX drive	TOSHIBA	EBX	61
<input type="checkbox"/> MFP13565987		C1E115240	TOSHIBA e-STUDIO5516AC	EEN2 group	tsipttec	TOSHIBA	EEN2	85
<input type="checkbox"/> その他	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)

選択中

3) 出力項目 (0 枚のデータも出力)

利用実績のない集計対象も出力する場合は、ここを指定します。

4) キー項目

閲覧結果に表示させたいキー項目を選択し、[追加]をクリックします。キー項目の選択リスト単位、リスト順で集計結果が出力されます。

- キー項目は複数指定することができます。
- [追加]したキー項目を削除するには、削除したいキー項目を選択し、[削除]をクリックします。
- [追加]したキー項目の順序を変更するには、順序を変更したいキー項目を選択し、選択リスト右側の[▲][▼]をクリックします。

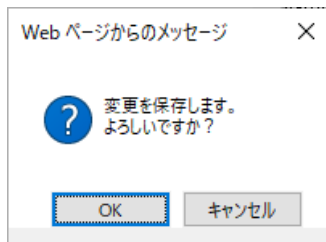
5) 出力項目

閲覧結果に表示させたい出力項目を選択し、[追加]をクリックします。出力項目の選択リスト単位、リスト順で集計結果が出力されます。

- 出力項目は複数指定することができます。
- [追加]した出力項目を削除するには、削除したい出力項目を選択し、[削除]をクリックします。
- [追加]した出力項目の順序を変更するには、順序を変更したい出力項目を選択し、選択リスト右側の[▲][▼]をクリックします。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

5.5 カウント集計の管理設定を行う

カウント集計の実行日や、集計結果の保存先、送信先などを設定します。

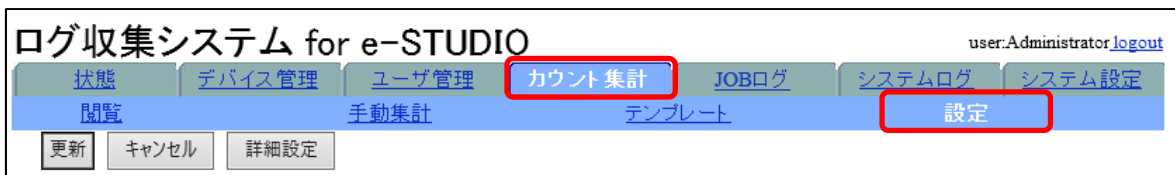
集計結果は CSV ファイルとして出力され、サーバへ保存されます。

また、通知先メールアドレス欄にメールアドレスを記載した場合には、メールでの送信も行われます。

5.5.1 カウント集計の管理設定方法

1 「カウント集計」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。

カウント集計の設定ページが表示されます。



2 共通設定を設定します。

以下の項目を指定します。

【補足】

「共通設定」の設定内容と[詳細設定]での設定内容に矛盾があった場合は、[詳細設定]の設定内容が優先されます。

1) 締め日

自動集計の締め日を指定します。

自動集計機能を使用しない場合は、[指定なし]を指定します。

* 自動集計処理は締め日翌日に実行され、最終集計期間は締め日で指定した年月日までとなります

* 本設定は 24 時間後に反映されます

* 自動集計処理は実行日の 2:00 に実施されます。

2) 休日の場合

1) で指定した締め日が休日だった場合の動作を指定します。

固定：1) で指定した日を締め日にします。

前倒：1) で指定した日より前の休日指定されていない日を締め日にします。

後送：1) で指定した日より後の休日指定されていない日を締め日にします。

3) 休日指定

休日として扱う曜日を指定します。複数の曜日を指定できます。

4) 集計保存パス

自動集計、手動集計結果の CSV ファイルの保存先を入力します。集計保存パスは"¥"で終了する必要があります。

【注意】

集計保存パスを指定しない場合、MFPSystem フォルダが配置されているドライブ（フォルダ）直下に出力されますが、OS によっては、システムがインストールされているドライブ直下への出力ができません。

"C: ¥MFPL0G¥"など、サブフォルダまたは OS システムが存在しないドライブを指定してください。

5) 集計ファイル名

集計結果の CSV ファイル名に文字列を付加できます。

付加する文字列を入力し、付加位置を指定します。文字列は、全角 128 文字、半角 256 文字まで入力できます。

なし：文字列を付加しません。

ファイル名は、「集計月度（西暦+月）_使用したテンプレート名.csv」となります。

(例) 「2008_10_template20.csv」

前：付加文字列を集計月度の前に付与します。

ファイル名は、「付加文字列_集計月度（西暦+月）_テンプレート名.csv」となります。

(例) 「CountData_2008_10_template20.csv」

後：付加文字列を集計月度の後ろに付与します。

ファイル名は、「集計月度（西暦+月）_付加文字列_テンプレート名.csv」となります。

(例) 「2008_10_CountData_template20.csv」

3 収集設定を設定します。

テンプレートごとに自動集計の結果をメールで送信することができます。
以下の項目を指定します。最大 3 パターンまで指定できます。

1) 集計フォーマット

自動集計に使用するテンプレートを指定します。

2) 集計送信先

集計結果の CSV ファイルの送信先メールアドレスを入力します。半角 256 文字まで入力でき、セミコロン「;」区切りで複数の通知先を指定することができます。

* メールで送信するには、事前に SMTP の設定を行う必要があります。

参照▶ [「ネットワークの設定方法」](#) 4) SMTP を設定する

4 自動集計で実行日を詳細に指定したい場合は、集計スケジュールを設定します。

集計スケジュールを設定することによって、毎月設定された日時に自動集計が行われます。

* 最終集計期間は設定日前日までとなります

* 本設定は 24 時間後に反映されます

集計スケジュールの詳細設定方法

【補足】

「共通設定」の設定内容と[詳細設定]での設定内容に矛盾があった場合は、[詳細設定]の設定内容が優先されます。

① [詳細設定]をクリックします。

カウント集計スケジュールの詳細設定画面が表示されます。

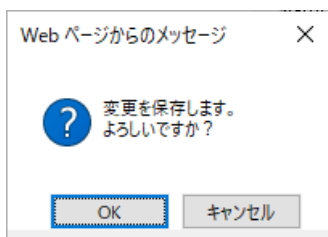
カウント集計スケジュールの詳細設定

更新 閉じる

<<前年	〽年月	実施年月日	翌年>>
	2019年 1月	<< 2019-01-01 >>	
	2019年 2月	<< 2019-02-01 >>	
	2019年 3月	<< 2019-03-01 >>	
	2019年 4月	<< 2019-04-01 >>	
	2019年 5月	<< 2019-05-01 >>	
	2019年 6月	<< 2019-06-01 >>	
	2019年 7月	<< 2019-07-01 >>	
	2019年 8月	<< 2019-08-01 >>	
	2019年 9月	<< 2019-09-01 >>	
	2019年 10月	<< 2019-10-01 >>	
	2019年 11月	<< 2019-11-01 >>	
	2019年 12月	<< 2019-12-01 >>	

実施時刻: 02:00 ▼

- ② 「〽年月」の集計実行日を指定します。「実施年月日」の「<<」「>>」で日にちを指定します。
- ③ 実施時刻を指定してください。
- ④ [更新]をクリックします。
- ⑤ [OK]をクリックします。



設定内容が保存されます。

【注意】

[更新]で今年度、翌年度の詳細設定を一度に設定することはできません。年度ごとに[更新]をクリックしてください。

- ⑥ [閉じる]をクリックし、画面を閉じます。

6. JOB ログ

6.1 JOB ログを表示する

デバイスから収集した JOB ログを表示します。期間や時間帯など表示させたい JOB ログの条件を指定して表示します。表示した結果は CSV ファイルとして出力することができます。

【補足】

デバイスから本システムへ JOB ログを収集する方法については、「JOB ログを収集する」を参照してください。

参照▶ [「JOB ログを収集する」](#)

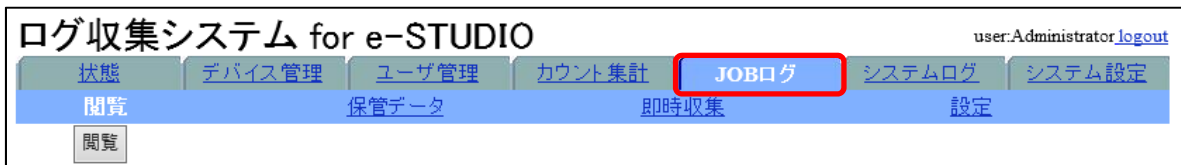
6.2 JOB ログを閲覧する

JOB ログの閲覧方法について説明します。

6.2.1 JOB ログの閲覧方法

1 「JOB ログ」タブをクリックします。

JOB ログの閲覧ページが表示されます。



2 閲覧条件を指定します。

The screenshot shows the 'JOB ログ' page with various search and filter options. The 'JOB ログ' tab is selected in the navigation bar. The page contains the following sections:

- 期間指定:** 2019/11/28 Cal ~ 2019/11/28 Cal
- 曜日指定:** 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜
- 時間指定:** 00 時 00 分 ~ 00 時 00 分
- 自由キーワード:** を含む
- 対象指定:**
 - デバイスグループ:** すべてのデバイスグループ 選択指定 (未選択です)
 - デバイス:** すべてのデバイス 選択指定 (未選択です)
 - 部門:** すべての部門 選択指定 (未選択です)
 - ユーザグループ:** すべてのユーザグループ 選択指定 (未選択です)
 - ユーザ:** すべてのユーザ 選択指定 (未選択です)
 - JOB種別:** すべてのJOB種別 選択指定 (未選択です)
 - 印刷種別:** すべての印刷種別 選択指定 (未選択です)
 - ページ集約:** すべてのページ集約 選択指定 (未選択です)
 - 用紙サイズ:** すべての用紙サイズ 選択指定 (未選択です)
 - 片面/両面:** すべての片面/両面 選択指定 (未選択です)
- 出力項目:**
 - ユーザ名 ユーザID ユーザグループ 部門名 部課コード
 - デバイス名 デバイス管理No デバイス識別名 デバイスグループ デバイスIPアドレス
 - JOB種別 実行結果 印刷種別 ページ集約 用紙サイズ
 - 用紙種類 ページ数 枚数 片面/両面 JOB実行時刻
 - 収集時刻 送信先 ファイル名 カラーモード 解像度
 - 文書モード 文書サイズ ファイルフォーマット 空白ページの削除 保管先
 - 送信サイズ 受信サイズ 送り主 通信時間 ライン
 - ファックスジャーナル番号 ファックスジャーナルの受信番号 通信モード Fコード ファックス実施日
 - ログパラメータ

閲覧条件の指定方法

1)～5)の条件に合致した JOB ログを閲覧結果に反映します。

1) 期間指定

閲覧する期間の開始日と終了日を設定します。

- ・年月日を YYYY/MM/DD (半角) で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

2) 曜日指定

閲覧する曜日をチェックします。

3) 時間指定

時刻を指定する場合はチェックを入れ、閲覧する JOB の実行時間帯を指定します。

4) 自由キーワード

入力したキーワードと選択した条件に合致した JOB ログを閲覧結果に反映します。

キーワードを入力し、右横のキーワードとの一致条件を選択します。

【補足】

自由キーワードの検索ではファイル名を検索し、大文字・小文字・半角・全角を区別します。

5) 対象指定

閲覧対象とする項目を指定します。

[デバイスグループ]、[デバイス]、[部門]、[ユーザグループ]、[ユーザ]、[JOB 種別]、[印刷種別]、[フォーマット]、[用紙サイズ]の指定が可能です。

以下はデバイス絞り込み指定の例です

対象指定:

<p>デバイスグループ</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのデバイスグループ</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>デバイス</p> <p><input type="radio"/> すべてのデバイス</p> <p><input checked="" type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>		
<p>部門</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべての部門</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>ユーザグループ</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのユーザグループ</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>ユーザ</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのユーザ</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	
<p>JOB種別</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのJOB種別</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>			
<p>印刷種別</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべての印刷種別</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>ページ集約</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのページ集約</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>用紙サイズ</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべての用紙サイズ</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>	<p>片面/両面</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべての片面/両面</p> <p><input type="radio"/> 選択指定</p> <p>未選択です ▼</p>

デバイス絞り込み指定

デバイスグループによる絞り込み

対象

デバイス名
 IPアドレス
 シリアル番号
 モデル名
 デバイスグループ
 設置場所
 メーカー名
 識別名
 機器管理No.

一覧表示

5件中 1件 目から (全体で 5件)

デバイス名	IPアドレス	シリアル番号	モデル名	デバイスグループ	設置場所	メーカー名	識別名	機器管理No.
<input type="checkbox"/> MFP-06944598		CQD910022	TOSHIBA e-STUDIO455	EB3 group	EB3 drive	TOSHIBA	EB3	136
<input type="checkbox"/> MFP11722176		CFFF39399	TOSHIBA e-STUDIO5005AC	EEN group	EEN drive	TOSHIBA	EEN	239
<input type="checkbox"/> MFP07543635		C7D204010	TOSHIBA e-STUDIO2050C	EBX group	EBX drive	TOSHIBA	EBX	61
<input type="checkbox"/> MFP13565987		C1EJ15240	TOSHIBA e-STUDIO5516AC	EEN2 group	tsipttec	TOSHIBA	EEN2	85
<input type="checkbox"/> その他	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)	(undefined)

MFP-06944598

MFP11722176

追加>>

<<削除

【補足】

デバイス絞り込み指定の検索では、大文字・小文字を区別しません。

6) 出力項目

JOB ログ結果に出力する項目を指定します。
出力したい項目をチェックします。

3 閲覧ページ左上の[閲覧]をクリックします。

user:Administrator [logout](#)

状態
デバイス管理
ユーザ管理
カウント集計
JOBログ
システムログ
システム設定

閲覧
保管データ
即時収集
設定

閲覧

期間指定: 2019/07/01 Cal ~ 2019/11/28 Cal

曜日指定: 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜

時間指定: 00 時 00 分 ~ 00 時 00 分

自由キーワード: を含む ▼

対象指定:

デバイスグループ

すべてのデバイスグループ 選択指定

未選択です ▼

デバイス

すべてのデバイス 選択指定

MFP-06944598 ▼

部門

すべての部門 選択指定

未選択です ▼

ユーザグループ

すべてのユーザグループ 選択指定

未選択です ▼

ユーザ

すべてのユーザ 選択指定

未選択です ▼

JOB種別

すべてのJOB種別 選択指定

未選択です ▼

印刷種別

すべての印刷種別 選択指定

未選択です ▼

ページ集約

すべてのページ集約 選択指定

未選択です ▼

用紙サイズ

すべての用紙サイズ 選択指定

未選択です ▼

片面/両面

すべての片面/両面 選択指定

未選択です ▼

出力項目:

<input checked="" type="checkbox"/> ユーザ名	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザID	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザグループ	<input checked="" type="checkbox"/> 部門名	<input checked="" type="checkbox"/> 部課コード
<input checked="" type="checkbox"/> デバイス名	<input checked="" type="checkbox"/> デバイス管理No	<input checked="" type="checkbox"/> デバイス識別名	<input checked="" type="checkbox"/> デバイスグループ	<input checked="" type="checkbox"/> デバイスIPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> JOB種別	<input checked="" type="checkbox"/> 実行結果	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷種別	<input checked="" type="checkbox"/> ページ集約	<input checked="" type="checkbox"/> 用紙サイズ
<input checked="" type="checkbox"/> 用紙種類	<input checked="" type="checkbox"/> ページ数	<input checked="" type="checkbox"/> 枚数	<input checked="" type="checkbox"/> 片面/両面	<input checked="" type="checkbox"/> JOB実行時刻
<input checked="" type="checkbox"/> 収集時刻	<input checked="" type="checkbox"/> 送信先	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> カラーモード	<input checked="" type="checkbox"/> 解像度
<input checked="" type="checkbox"/> 文書モード	<input checked="" type="checkbox"/> 文書サイズ	<input checked="" type="checkbox"/> ファイルフォーマット	<input checked="" type="checkbox"/> 空白ページの削除	<input checked="" type="checkbox"/> 保管先
<input checked="" type="checkbox"/> 送信サイズ	<input checked="" type="checkbox"/> 受信サイズ	<input checked="" type="checkbox"/> 送り主	<input checked="" type="checkbox"/> 通信時間	<input checked="" type="checkbox"/> ライン
<input checked="" type="checkbox"/> ファックスジャーナル番号	<input checked="" type="checkbox"/> ファックスジャーナルの受信番号	<input checked="" type="checkbox"/> 通信モード	<input checked="" type="checkbox"/> Fコード	<input checked="" type="checkbox"/> ファックス実施日
<input checked="" type="checkbox"/> ログパラメータ				

閲覧結果が別ウィンドウで表示されます。

JOBログ閲覧

10669件中 1件 目から (全体で 12126件)

<< 前の10ページ | 次の10ページ >>
<< 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >>

LogID	JobID	JOB実行時刻	収集時刻	ユーザ名	ユーザID	ユーザグループ	部門名	部課コード	デバイス名	デバイス管理No.	デバイス識別名	デバイスIPアドレス	JOB種別(大分類)	JOB種別(中分類)	実行結果	印刷種別	用紙サイズ	用紙枚数	片面両面	送付先	ファイル名	カラーモード	解像度	文書サイズ	ファイルフォーマット	空白ページの削除	送信サイズ	送信時間	送信エラー	ライン	ファックス番号	ファックス番号の番号	送信モード	Fコード	ファックス実施日	ログパラメータ
31504	532	2019-09-09 19:13:29	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準					Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None	
31501	533	2019-09-09 19:18:23	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31502	534	2019-09-09 19:20:33	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31503	535	2019-09-09 19:25:19	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31510	536	2019-09-09 20:23:30	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31509	537	2019-09-09 20:49:51	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31506	538	2019-09-09 20:58:51	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31507	539	2019-09-09 21:04:01	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of copies 1 Toner save OFF/Output destination Inner tray: Stapler None
31508	540	2019-09-09 21:07:50	2019-10-09 23:53:11	Administrator					MFP-06944598	136	EB3 group		プリント	プリント	OK	標準						Microsoft Word-SystemSetting_S														Source IP address 10.188.104.170 Output type Normal printing/Number of

【補足】

JOB ログの閲覧結果を CSV ファイルに出力する場合は、[エクスポート]をクリックします。エクスポート可能な行数の上限は 65530 行です。

JOB ログの表示形式について

JOB ログは以下の形式で表示されます（出力時と同じ形式です）。

No.	閲覧結果の列名	内容	出力項目名
1	LogID	ログ ID	* 指定なし（必須）
2	JobID	JOB ID	* 指定なし（必須）
3	JOB 実行時刻	JOB 実行日時（MFP 時刻）	Job Execution Time
4		* 出力時にもみ時間を分割	
5	収集時刻	ログの収集日時（MFP 時刻）	Collection Time
6		* 出力時にもみ時間を分割	
7	ユーザ名	LGS で作成したユーザ名	User Name
8	ユーザ ID	MFP で使用するユーザ ID	User ID
9	ユーザグループ	LGS で作成したユーザグループ	User Group
10	部門名	LGS で作成した部門名	Dept. Name
11	部課コード	LGS で作成した部門コード	Dept. Code
12	デバイス名	デバイス名	Device name
13	デバイス管理 No.	デバイス管理番号	Device management No.
14	デバイス識別名	デバイス ID	Device ID
15	デバイスグループ	LGS で作成したデバイスグループ	Device Group
16	デバイス IP アドレス	デバイス IP アドレス	Device IP address
17	JOB 種別(大分類)	Copy, Print, Scan, Box, iFaxRX, FaxTX, FaxRX, Operation, Unknown	JOB Type

No.	閲覧結果の列名	内容	出力項目名
18	JOB 種別 (小分類)	Copy, Print, File, Box, Email, Remote, iFaxTX, iFaxRX, FaxTX, FaxRX, Report, List, Login, Logout, Backup, Restore, Import, Export, Edit, Delete, Get log, Polling, Backup download, Restore upload, Export download, Others, Unknown, Rip, Box email, Box print, USB, WS scan, FadablePrint, Add, Create, Erase, Execute, Archive, Install, Clear, Shutdown, PowerOn, Sleep, LowSleep, Reboot, Notify, Update, None	
19	実行結果	OK, ERROR、Unknown * 異常発生時、1 バイトスペースを空けてエラーコード (ERROR_CODE) 値が表示されます。	Execution Result
20	印刷種別	Full color, B&W, Twin color, Mono color, Mixed color, Low color, Middle color, High color, Blue, Others, Unknown	Print Type
21	ページ集約	Standard、2in1、4in1、6in1、8in1、9in1、16in1、Unknown	Page Aggregation
22	用紙サイズ	A3, A4、A5, B4, B5, Others	Paper Size
23	用紙種類	Thin paper, Plain paper, Thick paper 1 - 5, Special paper 1 - 6, OHP, Recycled paper, Envelope, Envelope 2 - 4, Mixed type, Index paper, Auto, User type 1 - 10, Thick paper, Others, Unknown	Paper Type
24	ページ数	ページ数	Number of Pages
25	枚数	印刷用紙枚数	Number of Sheets
26	片面/両面	Simplex, Duplex, Mixed, Others, Unknown	Simplex/Duplex
27	送信先	送信先	Destination
28	ファイル名	ファイル名	File Name
29	カラーモード	Black, Gray, Full color, Twin color, ACS, Mono color, Erasable Blue, Unknown	Color Mode
30	解像度	100dpi, 150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、Unknown	Resolution
31	文書モード	text-photo, photo, text, printed image, map, custom, color document, unknown, ImageSmoothing, LineArt, Presentation, blueOriginal, vermilion	Document Mode
32	文書サイズ	ファイルサイズ	Document Size
33	ファイルフォーマット	tiff-multi, tiff-single, pdf-multi, jpeg, box, pdf-single, slim pdf-multi, slim pdf-single, xps-multi, xps-single, dib, png, no format, unknown, pdfa-multi, pdfa-single, slim xps-multi, slim xps-single, searchable-pdf-single, searchable-pdf-multi, searchable-xlimpdf-single, searchable-xlimpdf-multi, searchable-pdfa-single, searchable-pdfa-multi, docx-single, docx-multi, xlsx-single, xlsx-multi, pptx-single, pptx-multi, noImage	File Format
34	空白ページの削除	空白ページを含む原稿ページ	Blank Page Removal
35	保管先	保管先のネットワークパス	Storage Destination
36	送信サイズ	ファクス送信ジョブのファイルサイズ	Send Size
37	受信サイズ	ファクス受信ジョブのファイルサイズ	Receive Size
38	送り主	ファクス受信ジョブの送信者情報	Sender
39	通信時間	ファクス通信時間	Communication Time
40	ライン	ファクスライン番号	Line Number
41	ファクスジャーナル番号	ファクスジャーナル番号	Fax Journal Number
42	ファクスジャーナルの受信番号	ファクスジャーナルの受信番号	Fax Journal Receive Number
43	通信モード	通信モード	Communication Mode
44	Fコード	Fコード	F Code
45	ファクス実施日	ファクス実施日	Fax Implementation Date
46	ログパラメータ	各ログパラメータ * 詳細は、「ログパラメータ」を参照してください。	Log Parameter

ログパラメータ

出力されるパラメータは、ログの種類によって異なります。

No.	項目	内容
1	MFP 部門番号	
2	MFP 部課コード	
3	MFP 部門名	
4	課金部門	
5	ジョブコード	
6	操作対象	Address book、Template、Mail box code (Fcode)、Combined backup、Box (e-filing)、Software data、Image data、Log data、User、Role、Integrity check、Secure erase、Security、Admin setting wizard、Configuration、Department、Meta data、ICC、License、Service info、Certificate、Clone、Counter、Print Data Converter、Group、Project、Application、その他、不明
7	操作アプリケーション	Panel、TopAccess、SOAP/XML、Application、その他、不明
8	プロジェクトコード	
9	送信元 IP アドレス	
10	原稿種別	Text、Text-photo、Photo、Printed image、Map、Custom、Color、document、Image smoothing、Line art、Presentation、Blue original、Vermilion、不明
11	両面原稿	Simplex、Duplex、Mixed、Others、Unknown
12	原稿ページ数	
13	原稿サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、Others
14	カラー指定	Full color、B&W、Grayscale、Auto Selection、Twin color、Mono color、Blue、Mixed color、Others、Unknown
15	解像度	
16	データフォーマット	tiff-multi、tiff-single、pdf-multi、jpeg、box、pdf-single、slim pdf-multi、slim pdf-single、xps-multi、xps-single、dib、png、no format、不明、pdfa-multi、pdfa-single、slim xps-multi、slim xps-single、searchable-pdf-single、searchable-pdf-multi、searchable-xlimpdf-single、searchable-xlimpdf-multi、searchable-pdfa-single、searchable-pdfa-multi、docx-single、docx-multi、xlsx-single、xlsx-multi、pptx-single (continue)、pptx-multi、NoImage
17	ボックス名	
18	ボックスフォルダ名	
19	ボックスドキュメント	
20	ボックス番号	
21	Fax 受信回線番号	1、2、自動、不明
22	F コード	
23	E-mail アドレス、アドレス帳名(名)、アドレス帳名(氏)	<JOBLOGDATA_OUTPUT> "TO_EMAIL" or "TO_TEL"+ 継続表示: " "+"TO_FIRST_NAME"+" "+"TO_LAST_NAME" <JOBLOGDATA_INPUT> 項目名: Sender 継続表示: "FROM_EMAIL"+" "+"FROM_TEL"+" "+"FROM_FIRST_NAME"+" "+"FROM_LAST_NAME"
24	Fax ジャーナル通番	
25	Fax ジャーナル受付番号	
26	Fax 実施日時	
27	Fax 通信時間	
28	Fax 結果	OK、ERROR、不明 * 異常発生時、1バイトスペースを空けてエラーコード (ERROR_CODE) 値が表示されます。
29	Fax 通信モード	
30	出力種別	Normal 通常印刷、プライベート印刷、試し印刷、予約印刷、ホールド印刷、メール受信、消色、マルチステーション印刷、アプリ印刷、その他、不明
31	部数	
32	トナーセーブ	ON、FF、不明
33	排紙先	

No.	項目	内容
34	ページ付加	Yes、No、不明
35	日付付加	Yes、No、不明
36	ホチキス	なし、あり、サドルステッチ、不明
37	パンチ	Yes、No、不明
38	送信先ネットワークパス名1	
39	送信先ネットワークパス名2	
40	送信先 IP アドレス1	
41	送信先 IP アドレス2	
42	出力ファイルサイズ	* 単位を追加します (NNNbyte) * 単位はパラメータ値を変更して表示します。Kbyte より大きな値は、小数点以下第1位まで表示します。 1 - 1023: 1byte - 1023byte 1024 - 1024 * 1024 - 1: 1.0Kbyte - 1023.9Kbyte 1024 * 1024 以上: 1.0Mbyte or more
43	用紙トレイ	手差し、本体上段、本体下段、拡張上段、拡張下段、大容量カセット、混合、その他、不明、自動、インサーター

6.3 JOB ログを保管する

過去の JOB ログを本システムのデータベースから削除し、サーバ内の別ファイルに出力します。

JOB ログを保管するには以下の 2 つの方法があります。

保管方法	説明
自動保管	毎月一回、指定日に、指定月以前の JOB ログを自動で保管します。
手動保管	年月日を指定し、その日以前の JOB ログを手動で保管します。

JOB ログを保管したファイルは CSV ファイルとして出力されます。本システムの以下のフォルダ、ファイル名で保存されます。

保存されるフォルダ : 【インストールドライブ:¥MFPSystem¥KEEPDATA】

CSV ファイル名 : 【保存指定日 (西暦+月) _JOB_log.csv】

6.3.1 JOB ログを自動保管する

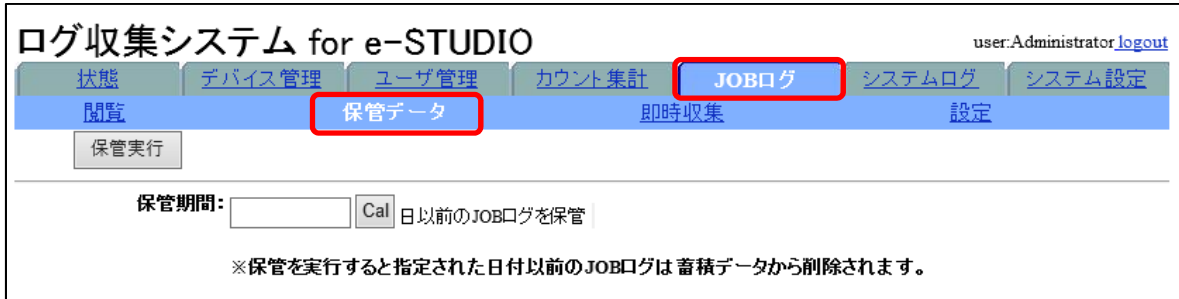
1 自動保管の設定を JOB ログの管理設定から行います。

参照 ▶ 「JOB ログの管理設定を行う」

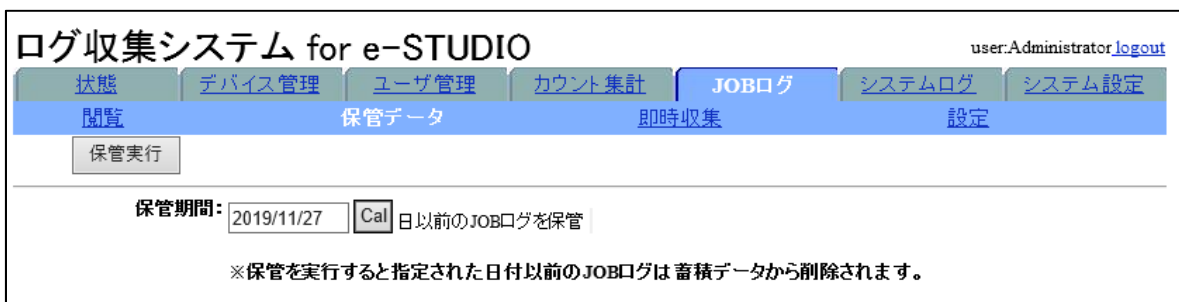
6.3.2 JOB ログを手動保管する

1 「JOB ログ」タブをクリックし、「保管データ」メニューをクリックします。

JOB ログの保管データのページが表示されます。

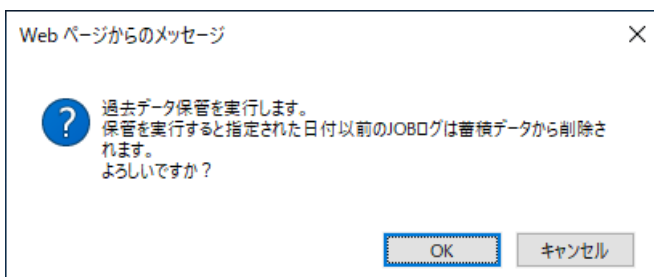


2 保管期間を指定します。



3 [保管実行]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。



指定された日以前の JOB ログが CSV ファイルに保管され、保管したデータはデータベースから削除されます。

6.4 JOB ログを収集する

デバイスから JOB ログを収集します。

収集されたログデータは本システムのデータベースへ保存されます。

一定期間保存された JOB ログはデータベースから削除し、別ファイルへ保管されます。

また、収集した JOB ログを監視し、不正な JOB を検出した場合や、部門、ユーザで使用上限枚数を超過した場合に通知を行います。

【補足】

ユーザ管理で設定されている使用上限枚数を超過した場合の通知メールには、お使いの機種により、超過前の使用枚数の実数か使用率の%（パーセント）のいずれかの数値が記載されます。

JOB ログを収集するには以下の 2 つの方法があります。

収集方法	説明
自動収集	定期的に管理デバイスから JOB ログの収集を行います。
即時収集	収集を行うデバイスを指定し、即時に実行します。

【注意】

JOB ログの自動収集中に、即時収集を行うことはできません。

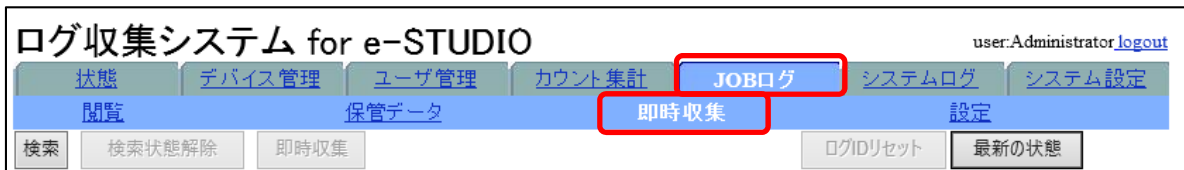
6.4.1 JOB ログを自動収集する

1 JOB ログの収集周期を管理設定から行います。

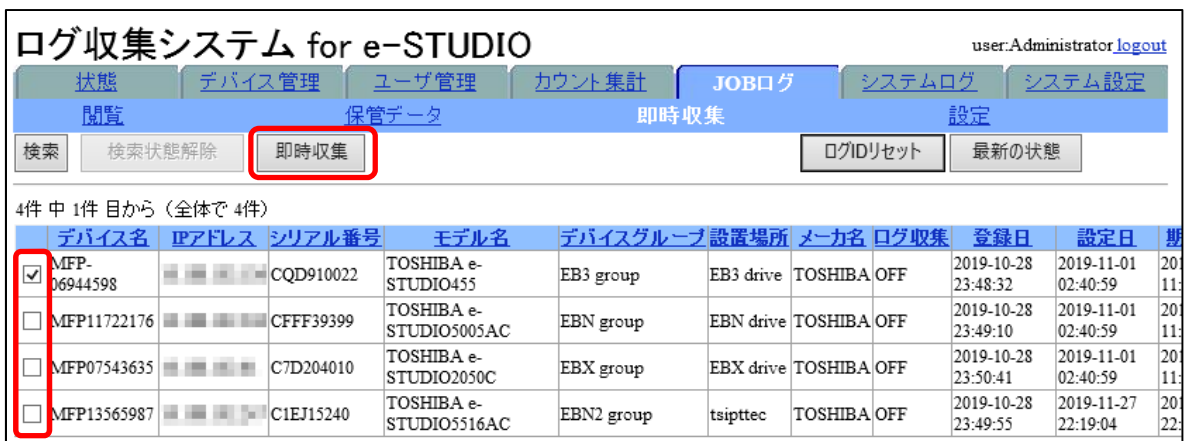
参照 「JOB ログの管理設定を行う」

6.4.2 JOB ログを即時収集する

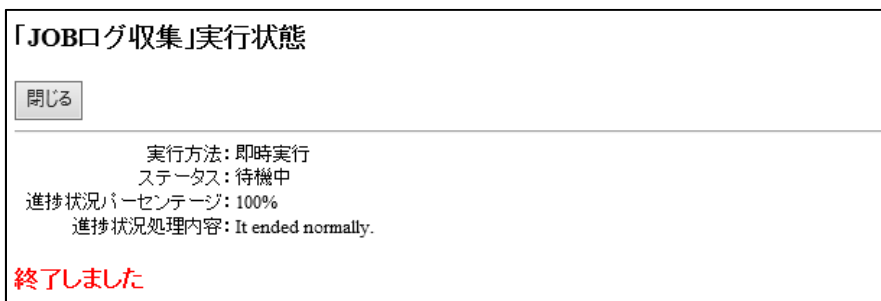
- 1 「JOB ログ」タブをクリックし、「即時収集」メニューをクリックします。
即時収集ページが表示されます。



- 2 即時収集を行うデバイスをチェックして、[即時収集]をクリックします。



- 3 実行状態画面が表示されたら、[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

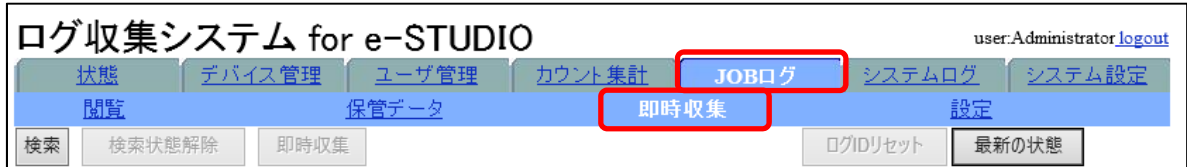


6.4.3 JOB ログを収集するデバイスの検索方法

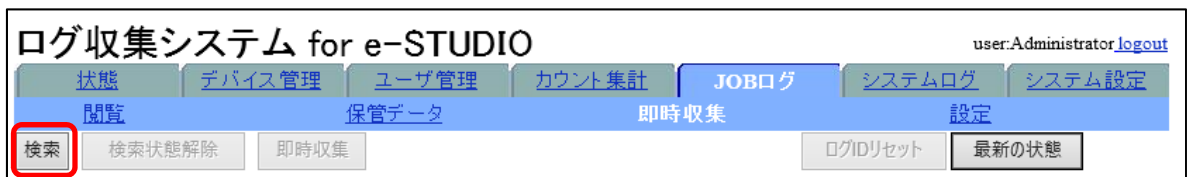
条件を指定して、JOB ログを収集したいデバイスを検索します。

1 「JOB ログ」タブをクリックし、「即時収集」メニューをクリックします。

即時収集ページが表示されます。



2 即時収集ページの[検索]をクリックします。



デバイス情報検索画面が表示されます。

3 検索対象として指定する項目をチェックします。

デバイス情報検索

検索 キャンセル 閉じる

<input checked="" type="checkbox"/> デバイス名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> シリアル番号:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> モデル名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> デバイスグループ名:	所属なし ▼	のものすべて	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 設置場所:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> メーカー名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> ログ収集:	ON ▼	のものすべて	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 識別名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 機器管理No.:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 状態:	OK ▼	のものすべて	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 最終ログID:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下		
<input checked="" type="checkbox"/> 部門名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 部課コード:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザ名:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザID:	<input type="text"/>	を含む	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 部門名:	所属なし ▼	のものすべて	▼
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザグループ:	所属なし ▼	のものすべて	▼
<input checked="" type="checkbox"/> 上限枚数:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下		
<input checked="" type="checkbox"/> 現在枚数:	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以下		
<input checked="" type="checkbox"/> 使用枚数比:	上限枚数 <input type="text"/> %以上		

【補足】

検索対象を複数指定することができます。検索対象を複数選択した場合は、選択したすべての項目の条件に合致するデバイスが検索されます。

4 検索文字列を入力する、または検索条件を指定します。

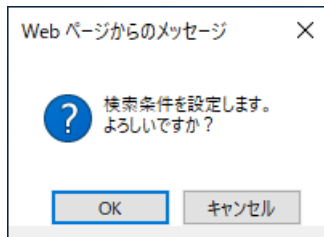
- ① [デバイス名]、[IP アドレス]、[シリアル番号]、[モデル名]、[設置場所]、[メーカー名]、[識別名]、[機器管理 No.]、[部門名]、[部課コード]、[ユーザ名]、[ユーザ ID] のいずれかで検索する場合
検索文字列を入力し、右横のプルダウンメニューから検索方法を指定します。
- ② [デバイスグループ名]、[ログ収集]、[状態]、[部門名]、[ユーザグループ] のいずれかで検索する場合
検索条件を選択し、右横のプルダウンメニューから検索条件を指定します。
- ③ [最終ログ ID]、[上限枚数]、[現在枚数] のいずれかで検索する場合
検索する下限と上限、またはどちらか一方を半角で入力します。

【補足】

デバイスの検索では、大文字・小文字・半角・全角を区別しません。

5 [検索]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。



検索を開始し、検索結果ページが表示されます。

【補足】

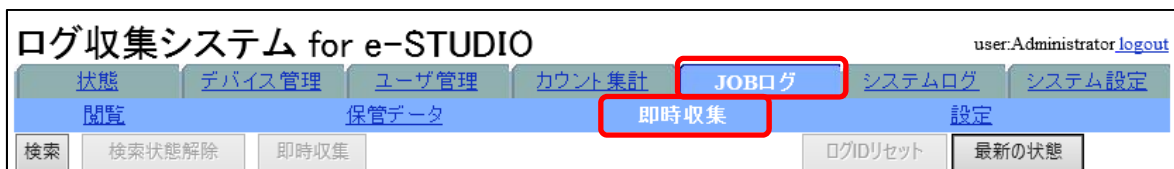
即時収集ページ上で、デバイス名以外で検索条件に指定したい項目の欄をクリックすると、その条件と同じデバイス情報が絞り込み検索されます。

検索状態を解除し、すべてのデバイス情報を表示させるには、[検索状態解除]をクリックします。

6.4.4 ログ ID のリセット方法

データベースに記録されている収集済の JOB ログ ID をリセットします。
 デバイスの HDD を初期化した場合等で JOB ログが収集されない場合に行います。

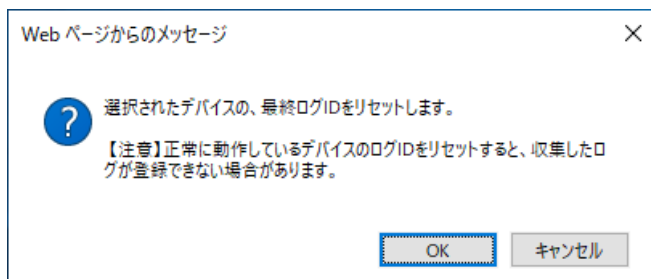
- 1 「JOB ログ」タブをクリックし、「即時収集」メニューをクリックします。
 即時収集ページが表示されます。



- 2 ログ ID をリセットするデバイス情報をチェックして、[ログ ID リセット] をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



【注意】

ログ ID をリセットすると、デバイスに対して再取得を行い、収集済みの JOB ログと不整合が生じて JOB ログが正しく登録できない場合があります。

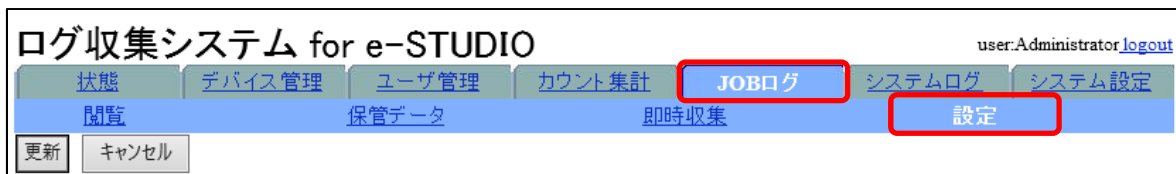
6.5 JOB ログの管理設定を行う

JOB ログをデバイスから収集する周期や、JOB ログの監視通知、自動保管等について設定します。

6.5.1 JOB ログの管理設定方法

1 「JOB ログ」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。

JOB ログの設定ページが表示されます。



2 収集設定を設定します。

収集設定
 収集周期: 1時間

監視設定
 監視通知設定:

監視項目							通知メールアドレス
禁止時刻	禁止曜日	不正文字	部門上限	ユーザ上限	未登録	文字変換	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

監視詳細設定:
 禁止時刻 0 時 0 分 ~ 0 時 0 分
 禁止曜日 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜
 不正文字

JOB ログ収集に関する以下の項目を指定します。

1) 収集周期

JOB ログの自動収集を行う周期を指定します。

3 監視設定を設定します。

収集した JOB ログを監視し、不正な JOB を検出した場合や、部門、ユーザで月間使用上限枚数を超過した場合に通知を行います。

監視設定								
監視通知設定:		監視項目						通知メールアドレス
禁止時刻	禁止曜日	不正文字	部門上限	ユーザ上限	未登録	文字変換		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

監視詳細設定: 禁止時刻 0 時 0 分 ~ 0 時 0 分
 禁止曜日 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜
 不正文字

以下の項目を指定します。

1) 監視通知設定

通知したい監視項目をチェックし、右欄に通知先メールアドレスを入力します。通知先メールアドレスごとに監視項目を設定できます。最大 6 パターンの設定が可能です。メールアドレスは、半角 256 文字まで入力でき、セミコロン「;」区切りで複数の通知先を指定することができます。監視項目は以下です。

監視項目	説明
禁止時刻	2) 監視詳細設定で指定した禁止時刻であるログを検出した場合に通知します。
禁止曜日	2) 監視詳細設定で指定した禁止曜日であるログを検出した場合に通知します。
不正文字	2) 監視詳細設定で指定した不正文字を使用しているログを検出した場合に通知します。
部門上限	部門での月間使用上限枚数が 95%を超過した場合と、100%を超過した場合に通知します。 一回の JOB で 95%、100%を同時に超過した場合は 100%を超過したものとし、一回だけ通知します。 【補足】 部門での紙の月間使用上限枚数の設定については、「部門情報を新規登録する」を参照してください。 参照 ▶ 「部門情報の新規登録方法」 すでに設定済みの月間使用上限枚数を変更するには、「部門情報を編集する」を参照してください。 参照 ▶ 「部門情報の編集方法」

<p>ユーザ上限</p>	<p>ユーザの月間使用上限枚数が 95%を超過した場合と、100%を超過した場合に通知します。 一回の JOB で 95%、100%を同時に超過した場合は 100%を超過したものとし、一回だけ通知します。</p> <p>【補足】 ユーザでの月間使用上限枚数の設定については、「ユーザ情報を新規登録する」を参照してください。</p> <p>参照▶「<u>ユーザ情報の新規登録方法</u>」</p> <p>すでに設定済みの月間使用上限枚数を変更するには、「ユーザ情報を編集する」を参照してください。</p> <p>参照▶「<u>ユーザ情報の編集方法</u>」</p>
<p>未登録</p>	<p>収集した JOB ログをデータベースに登録できない場合に通知します。</p> <p>【補足】 登録できない JOB ログは【インストールドライブ:¥MFPSystem¥ErrorLog】に格納されています。</p>
<p>文字変換</p>	<p>収集した JOB ログをデータベースに登録する際に文字変換を実行した場合に通知します。</p> <p>【補足】 変換する文字の規則は設定ファイル【インストールドライブ:¥MFPSystem¥MFPSystem.ini】に定義します。</p>

2) 監視詳細設定

監視する JOB の条件を設定します。

監視項目	説明
禁止時刻	JOB 実行を禁止する時刻帯を指定します。
禁止曜日	JOB 実行を禁止する曜日を指定します。
不正文字	JOB の実行が不正であると判断するための不正文字列を入力します。 複数の不正文字を指定する場合は、不正文字と不正文字を半角スペースで区切ります。

4 保管設定を設定します。

JOB ログを自動保管するための設定を行います。

保管設定	
保管自動設定: 毎月何日に保管	1 日
何ヶ月前を保管	6 ヶ月

保管自動設定	説明
毎月何日に保管	自動保管を実行する日を指定します。 「末日」を指定した場合は、毎月の最後の日に自動保管を実行します。
何ヶ月前を保管	何ヶ月前の JOB ログを保管するかを指定します。

【注意】

保管設定を有効にするには、[更新]をクリックしてください。

保管設定の値がデフォルトのままでも、[更新]をクリックしないと設定が反映されません。

5 定時排出設定を設定します。

収集した JOB ログを排出するための設定を行います。

<input checked="" type="checkbox"/> 定時排出設定	
排出時刻:	3 時 40 分
排出基準パス:	c:\temp\test \\.MFPlog\
定時排出詳細設定:	<input type="checkbox"/> 排出0件のデバイスのCSVファイルを作成しない

定時排出設定	説明
排出時刻	定時排出を実行する時刻を指定します。
排出基準パス	定時排出結果の CSV ファイルの保存先を入力します。
定時排出詳細設定	利用実績のないデバイスを定時排出の対象とすることを指定します。

6 出力項目名称設定を設定します。

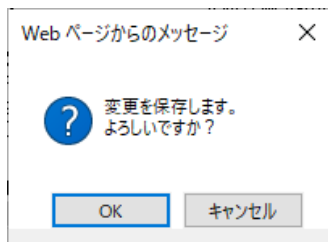
出力項目の名称設定を行います。

出力項目名称設定	
出力項目名称設定:	<input checked="" type="checkbox"/> JBMIA推奨名称に変更する

出力項目名称設定	説明
出力項目名称設定	定時排出および保管データ CSV 出力のカラム名を JBMIA 推奨名称で出力するかを指定します。

7 [更新]をクリックします。

8 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

7. システムログ

7.1 システムログを表示する

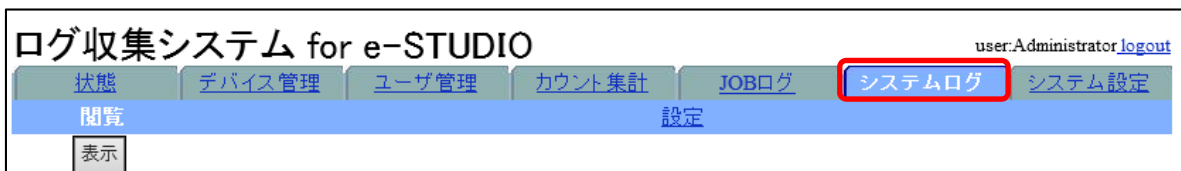
本システムでの操作ログや、デバイス・本システムの状態監視ログ、本システムで行われたイベント実行ログ、イベントの処理結果ログを表示します。

システムログの表示方法について説明します。

7.1.1 システムログの表示方法

1 「システムログ」タブをクリックします。

システムログの閲覧ページが表示されます。



2 閲覧条件を指定します。



閲覧条件の指定方法

1) 表示期間

表示する期間の開始日と終了日を設定します。

- ・年月日を YYYY/MM/DD（半角）で指定するか、[Cal]をクリックして表示されるカレンダーから指定します。

2) ログ種別

閲覧したいログの種別を指定します。

3) 検索キーワード

検索文字列を入力し、検索条件をプルダウンメニューから指定します。この条件に合致するシステムログを表示します。

【補足】

検索キーワードでは、大文字・小文字・半角・全角を区別します。

3 [表示]をクリックします。

システムログが表示されます。

4 システムログを確認したら、[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

システムログ表示

閉じる

176件中 1件 目から (全体で 6605件)

<<前の10ページ | 次の10ページ>>
 <<1 2 3 4 5 6 7 8 9 10>>

発生日時	種別	コード	IP	パラメータ1	パラメータ2
2019/11/28 17:26:45	Operation	1600		show system log	表示
2019/11/28 17:08:35	Operation	1502		JOB log immediate collection	終了 LAST_STATUS=0
2019/11/28 17:08:31	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection end
2019/11/28 17:08:31	ProcessingResult	4000		Job log collection	The number of job log acquisitions was 0. \r\n Model name (TOSHIBA e-STUDIO455) Serial No CQD910022
2019/11/28 17:08:29	Event	3001		JOB log collection start	Start regular job log collection process
2019/11/28 17:08:29	ProcessingResult	4000		Job log collection	IP address (10.188.102.136) Serial No (CQD910022) Collects JOB logs from devices with model name (TOSHIBA e-STUDIO455).
2019/11/28 17:08:28	ProcessingResult	4000		Job log collection	Collect JOB logs from 1 MFPS.
2019/11/28 17:08:28	ProcessingResult	4000		Job log collection	Command line arguments:-MANUAL
2019/11/28 17:08:28	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection start
2019/11/28 17:08:28	Operation	1502		JOB log immediate collection	ProcessName:C:\MFPS\system\bin\JobLogCollection.exe Parameter:-MANUAL
2019/11/28 17:08:28	Operation	1502		JOB log immediate collection	処理開始
2019/11/28 17:08:22	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection end
2019/11/28 17:08:21	ProcessingResult	4000		Job log collection	The number of job log acquisitions was 0. \r\n Model name (TOSHIBA e-STUDIO455) Serial No CQD910022
2019/11/28 17:08:19	Event	3001		JOB log collection start	Start regular job log collection process
2019/11/28 17:08:18	ProcessingResult	4000		Job log collection	IP address (10.188.102.136) Serial No (CQD910022) Collects JOB logs from devices with model name (TOSHIBA e-STUDIO455).
2019/11/28 17:08:18	ProcessingResult	4000		Job log collection	Collect JOB logs from 1 MFPS.
2019/11/28 17:08:18	ProcessingResult	4000		Job log collection	Command line arguments:-MANUAL
2019/11/28 17:08:18	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection start
2019/11/28 17:08:18	Operation	1502		JOB log immediate collection	ProcessName:C:\MFPS\system\bin\JobLogCollection.exe Parameter:-MANUAL
2019/11/28 17:08:17	Operation	1502		JOB log immediate collection	処理開始
2019/11/28 16:57:00	Operation	1500		JOB log reading	処理開始
2019/11/28 16:34:58	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:30:36	Operation	1109		MFP batch registration (discovery)	表示
2019/11/28 16:30:22	Operation	1109		MFP batch registration (discovery)	表示
2019/11/28 16:30:06	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:29:37	ProcessingResult	4600		Timer	Job log collection next run date:2019/11/28 17:29:33
2019/11/28 16:29:35	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection end
2019/11/28 16:29:33	ProcessingResult	4000		Job log collection	Collect JOB logs from 0 MFPS.
2019/11/28 16:29:33	ProcessingResult	4000		Job log collection	Command line arguments:
2019/11/28 16:29:33	ProcessingResult	4000		Job log collection	JOB log collection start
2019/11/28 16:29:33	ProcessingResult	4600		Timer	JobLogCollectionLaunched.
2019/11/28 16:28:25	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:26:53	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:26:50	Operation	1200		view department information	表示
2019/11/28 16:26:32	Operation	1110		MFP template update	処理開始
2019/11/28 16:26:19	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:26:02	Operation	1200		view department information	表示
2019/11/28 16:26:00	Operation	1110		MFP template update	処理開始
2019/11/28 16:25:34	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:25:12	Operation	1110		MFP template update	処理開始
2019/11/28 16:23:40	Operation	1100		MFP information browsing	表示
2019/11/28 16:14:52	Operation	1400		count count view	2019/07/01~2019/11/28
2019/11/28 16:14:38	Operation	1400		count count view	2019/11/01~2019/11/28
2019/11/28 16:12:43	Operation	1400		count count view	2019/11/28~2019/11/28
2019/11/28 16:12:17	Operation	1400		count count view	2019/11/28~2019/11/28
2019/11/28 15:57:08	Operation	1200		view department information	表示
2019/11/28 15:52:40	Operation	1251		import user / department	終了 LAST_STATUS=2
2019/11/28 15:52:39	ProcessingResult	4350		Import User / Department information	User / department information automatic update end
2019/11/28 15:52:39	ProcessingResult	4350		Import User / Department information	User / department information automatic update abnormal end
2019/11/28 15:52:39	ProcessingResult	4350		Import User / Department information	User / department information automatic update abnormal endImport read failure from LDAP authentication server
2019/11/28 15:52:30	ProcessingResult	4350		Import User / Department information	Abnormal termination Import read from LDAP authentication server failed

7.2 システムログを管理する

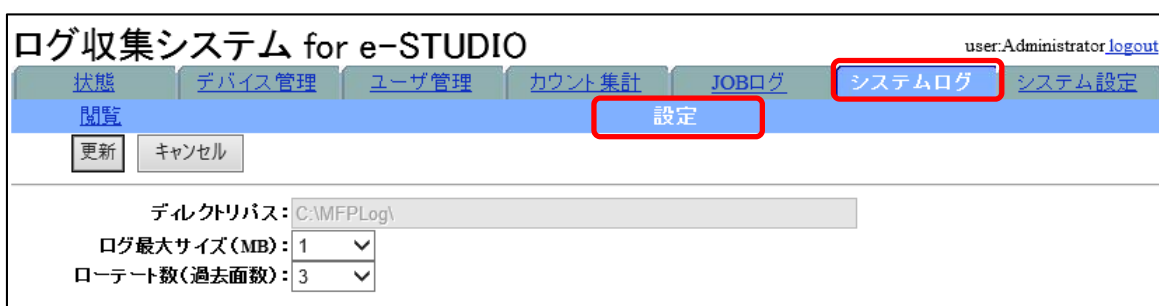
システムログファイルの保存先やファイルサイズ、バックアップの設定の方法について説明します。

【注意】

- * 本設定は再送要求期間超過データ削除ログ「ResendJobLogDelete_YYYY_MM_DD.csv」には反映されません。

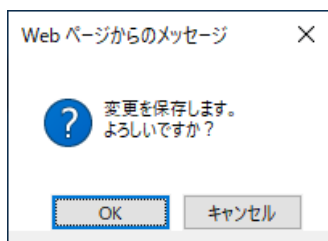
7.2.1 システムログの管理設定方法

- 1 「システムログ」タブをクリックし、「設定」メニューをクリックします。
システムログの設定ページが表示されます。



システムログファイルの出力先ディレクトリパスを表示します。

- 2 ログ最大サイズ (MB) をプルダウンメニューから指定します。
システムログファイルの、1ファイルあたりの最大サイズを指定します。
- 3 ローテート数 (過去面数) を指定します。
システムログファイルのバックアップファイル数を指定します。
- 4 [更新]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。



【注意】

設定変更時は MFPServiceSystem/MFPSERVICETrap/MFPSERVICETimer を再起動してください。

8. システム管理

8.1 システム管理

本システムに関する設定を行います。

参照▶ 「[ネットワークの設定を行う](#)」

参照▶ 「[アカウントの設定を行う](#)」

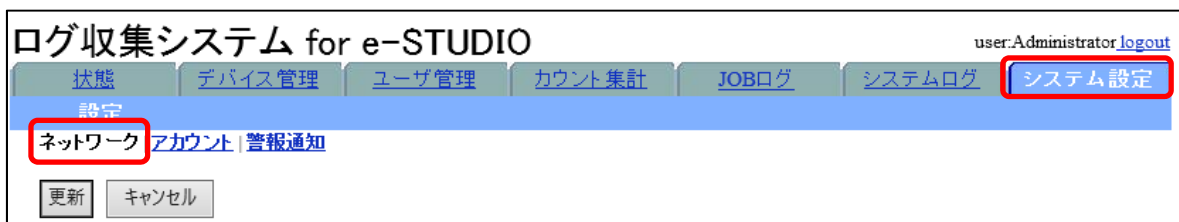
参照▶ 「[システム警報通知の設定を行う](#)」

8.2 ネットワークの設定を行う

ネットワークの設定方法について説明します。

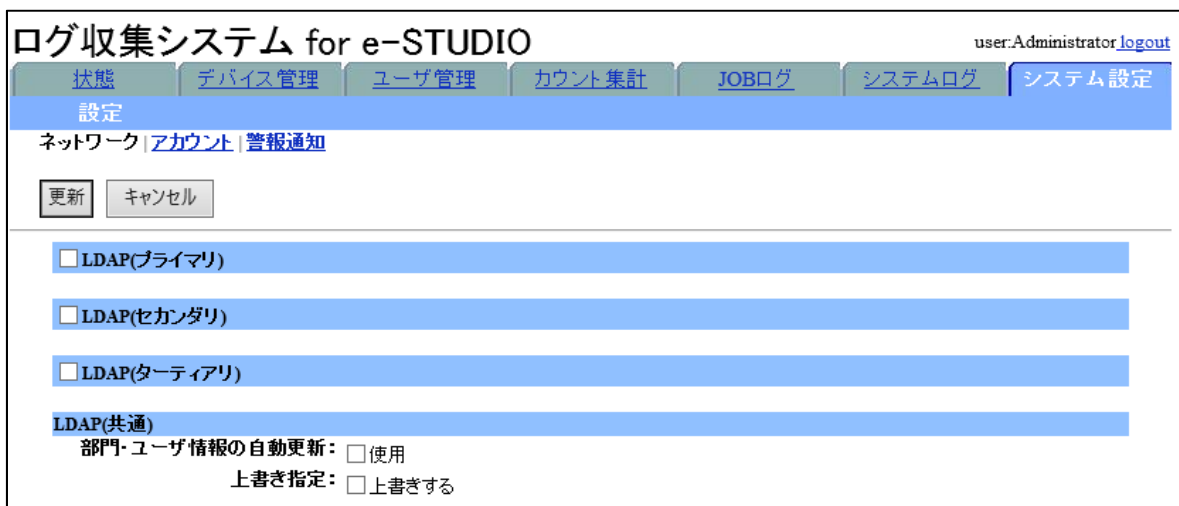
8.2.1 ネットワークの設定方法

1 「システム設定」タブをクリックし、「ネットワーク」をクリックします。



ネットワークの設定ページが表示されます。

2 ネットワークを設定します。



1) LDAP を設定する

LDAP サーバを利用して、部門・ユーザ情報のインポートを行う場合に設定します。

最大 3 つまで LDAP サーバを登録することができます。

LDAP 設定	説明
Kerberos 認証使用	Kerberos 認証を使用する場合は[有効]をチェックします。
LDAP サーバ	LDAP サーバの IP アドレスを入力します。「0.0.0.0～255. 255. 255. 255」の範囲から半角で指定します。
ポート番号	LDAP サーバにアクセスするポート番号を入力します。「0～65535」の範囲から半角で指定します。通常「389」を使用します。SSL を使用する場合は、通常「636」を使用します。
ログイン名	LDAP サーバへアクセスするためのログイン名を入力します。
パスワード	LDAP サーバへアクセスするためのパスワードを入力します。
サーチベース	サーチベースを入力します。
会社属性	会社名を抽出するときの属性名を入力します。
会社属性の検索条件	会社属性で設定されている文字列と一致するユーザのみを抽出する場合に利用します。
部署属性	部署（部門）名を抽出するときの属性名を入力します。
部課コード属性	部課コードを抽出するときの属性名を入力します。
ユーザ ID 属性	ユーザ ID を抽出するときの属性名を入力します。
ユーザ名属性	ユーザ名を抽出するときの属性名を入力します。
タイムアウト	タイムアウト時間を入力します。[1 ～ 120]秒から半角で指定します。

2) LDAP(共通)を設定する

「プライマリ」、「セカンダリ」、「ターティアリ」LDAP サーバで共通の項目を指定します。

LDAP(共通) 部門・ユーザ情報の自動更新: <input type="checkbox"/> 使用 上書き指定: <input type="checkbox"/> 上書きする
--

LDAP(共通)設定	説明
部門・ユーザ情報の自動更新	LDAP サーバを使用して、部門情報とユーザ情報の自動更新機能を使用する場合は[使用]をチェックします。 * 本機能は設定から 24 時間後に反映されます * 実行時刻は毎日 1 時 00 分です
上書き指定	LDAP サーバから取得したデータを以前のデータに上書きする場合は、上書き指定をチェックします。

3) HTTP(SOAP)を設定する

JOB を収集するための HTTP(SOAP)設定を行います。

HTTP(SOAP) ポート番号: <input type="text" value="49629"/> SSL使用: <input type="checkbox"/> 有効 SSLポート番号: <input type="text" value="49630"/>
--

HTTP(SOAP)設定	説明
ポート番号	HTTP アクセスに使用するポート番号を入力します。「0～65535」の範囲から半角で指定します。
SSL 使用	SSL を使用する場合は、[有効]をチェックします。
SSL ポート番号	[SSL 使用]を有効にした場合、使用する SSL ポート番号を「0～65535」の範囲から半角で指定します。

4) SMTP を設定する

監視項目の通知、カウント集計結果やエクスポートファイルをメール送信する場合に、SMTP クライアントと POP3 クライアントを設定します。

SMTP

SMTPクライアント:

SSL / TLS使用: ▼

SSL/TLS: ▼

SMTPサーバ:

POP Before SMTP: ▼

認証: ▼

ログイン名:

パスワード:

ポート番号:

送信者アドレス:

SMTPクライアント接続タイムアウト(1-180): 秒

POP3クライアント:

SSL / TLS使用: ▼

SSL/TLS: ▼

POP3サーバアドレス:

タイプPOP3ログイン: ▼

ポート番号:

SSL / TLSポート番号:

POP3クライアント接続タイムアウト(1-180): 秒

SMTP クライアント	説明
SSL/TLS 使用	セキュリティ認証を[無効]、[登録された CA 証明書を使用する]、[すべての証明書を受け入れる]から選択します。
SSL/TLS	暗号化方式を[STARTTLS]、[Over SSL/TLS]から選択します。
SMTP サーバ	SMTP サーバの IP アドレスを入力します。「0.0.0.0~255. 255. 255. 255」の範囲から半角で指定します。
POP Before SMTP	POP Before SMTP 認証方式を[有効]、[無効]から選択します。[有効]を選択した場合は、POP3 クライアントを必ず設定してください。
認証	認証方式を[無効]、[Plain]、[Login]、[CRAM-MD5]、[Digest-MD5]、[Kerberos]、[NTLM(IWA)]、[自動]から選択します。
ログイン名	SMTP サーバへアクセスするためのログイン名を入力します。 <u>(データベースに設定値を格納するのみ、未使用)</u>
パスワード	SMTP サーバへアクセスするためのパスワードを入力します。 <u>(データベースに設定値を格納するのみ、未使用)</u>
ポート番号	SMTP サーバにアクセスするためのポート番号を入力します。「0~65535」の範囲から半角で指定します。通常「25」を使用します。
送信者アドレス	送信者アドレスを入力します。半角 256 文字まで入力できます。

SMTP クライアント 接続タイムアウト (1-180)	接続タイムアウトまでの時間を秒数で入力します。指定しない場合は、180 秒になります。
---	---

POP3 クライアント	説明
SSL/TLS 使用	セキュリティ認証を[無効]、[登録された CA 証明書を使用する]、[すべての証明書を受け入れる]から選択します。
SSL/TLS	暗号化方式を[STARTTLS]、[Over SSL/TLS]から選択します。
POP3 サーバアドレス	POP3 サーバの IP アドレスを入力します。「0.0.0.0～255. 255. 255. 255」の範囲から半角で指定します。
タイプ POP3 ログイン	ログイン方式を[自動]、[POP3]、[APOP]から選択します。
ポート番号	POP3 サーバにアクセスするためのポート番号を入力します。「0～65535」の範囲から半角で指定します。通常「110」を使用します。
SSL/TLS ポート番号	SMTP サーバにアクセスするためのポート番号を入力します。「0～65535」の範囲から半角で指定します。通常「995」を使用します。
POP3 クライアント 接続タイムアウト (1-180)	接続タイムアウトまでの時間を秒数で入力します。指定しない場合は、180 秒になります。

5) SNMP を設定する

デバイスと SNMPv1 形式で通信する場合に使用します。

SNMP	
readコミュニティ1:	<input type="text" value="public"/>
readコミュニティ2:	<input type="text"/>
readコミュニティ3:	<input type="text"/>
	※ディスカバリ時に利用されます
trapコミュニティ:	<input type="text" value="public"/>

SNMP 設定	説明
read コミュニティ	SNMP の read コミュニティを入力します。最大 3 つまで指定することができます。
trap コミュニティ	SNMP の trap コミュニティを入力します。

6) SNMP V3 を設定する

デバイスと SNMPv3 形式で通信する場合に使用します。

SNMP V3

ユーザ名:

ユーザ認証プロトコル: HMAC-MD5 ▼

ユーザ認証パスワード:

ユーザプライバシープロトコル: なし ▼

ユーザプライバシーパスワード:

管理者名:

管理者認証プロトコル: HMAC-MD5 ▼

管理者認証パスワード:

管理者プライバシープロトコル: なし ▼

管理者プライバシーパスワード:

SNMP V3 設定	説明
ユーザ名	SNMPv3 のユーザ名を入力します。
ユーザ認証プロトコル	ユーザ認証に使用するプロトコルを選択します。
ユーザ認証パスワード	ユーザ認証に使用するパスワードを入力します。
ユーザプライバシープロトコル	通信データの暗号化方式を選択します。
ユーザプライバシーパスワード	通信データの暗号化に使用するパスワードを入力します。
管理者名	SNMPv3 の管理者名を入力します。
管理者認証プロトコル	管理者認証に使用するプロトコルを選択します。
管理者認証パスワード	管理者認証に使用するパスワードを入力します。
管理者プライバシープロトコル	通信データの暗号化方式を選択します。
管理者プライバシーパスワード	通信データの暗号化に使用するパスワードを入力します。

7) SNMP V3 トラップを設定する

デバイスからの SNMPv3 形式の Trap を受信する場合に使用します。

SNMP V3トラップ

トラップユーザ名:

トラップ認証プロトコル: HMAC-MD5 ▼

トラップ認証パスワード:

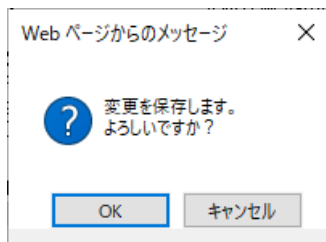
トラッププライバシープロトコル: CBC-DES ▼

トラッププライバシーパスワード:

SNMP V3 トラップ設定	説明
トラップユーザ名	SNMPv3 のトラップユーザ名を入力します。
トラップ認証プロトコル	ユーザ認証に使用するプロトコルを選択します。
トラップ認証パスワード	ユーザ認証に使用するパスワードを入力します。
トラッププライバシープロトコル	通信データの暗号化方式を選択します。
トラッププライバシーパスワード	通信データの暗号化に使用するパスワードを入力します。

3 [更新]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。



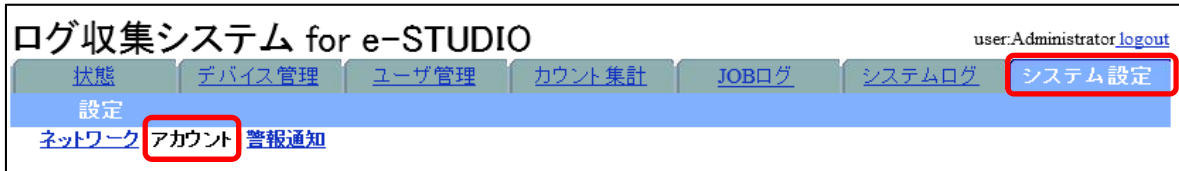
変更が保存されます。

8.3 アカウントの設定を行う

ログイン名とパスワードを変更することができます。

8.3.1 アカウントの設定方法

- 1 「システム設定」タブをクリックし、「アカウント」をクリックします。



アカウントの設定ページが表示されます。

- 2 変更するアカウントの[変更]をクリックします。



アカウントの変更画面が表示されます。

3 ログイン名とログインパスワードを編集します。

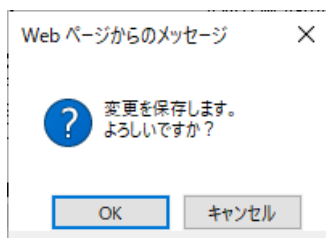
Administrator	
ログイン名:	admin
現在のパスワード:	
新しいパスワード:	
パスワードの確認:	

以下の項目を設定します。

- 1) **ログイン名**
新しいログイン名を入力します。半角 32 文字まで入力できます。
- 2) **現在のパスワード**
現在、設定されているパスワードを入力します。
- 3) **新しいパスワード**
新しいパスワードを入力します。半角 32 文字まで入力できます。
- 4) **パスワードの確認**
確認のため、3) で入力したパスワードをもう一度入力します。

4 [更新]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

8.4 システム警報通知の設定を行う

本システムの状態を監視し、異常を検出した場合に通知を行います。

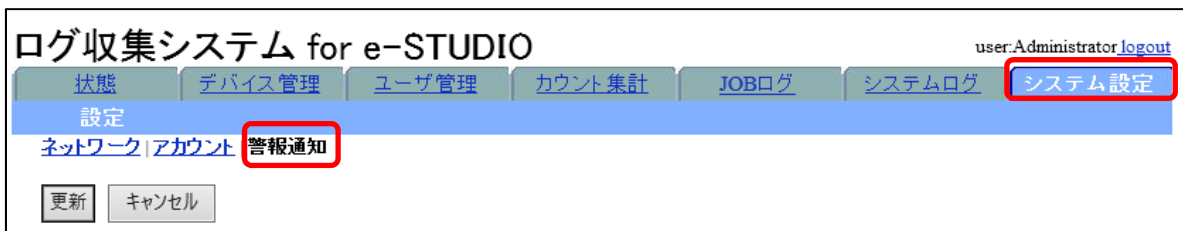
【注意】

メールを使用して警報通知を行う前に、SMTPの設定を行ってください。

参照 「ネットワークの設定を行う」 4)SMTPを設定する

8.4.1 システム警報通知の設定方法

1 「システム設定」タブをクリックし、「警報通知」をクリックします。



警報通知の設定ページが表示されます。

2 警報設定を設定します。



以下の項目を設定します。

1) 警報設定

通知を行う場合は、監視項目をチェックし、右欄に通知先メールアドレスを入力します。メールアドレスは、セミコロン「;」区切りで複数の通知先アドレスを指定できます。半角 256 文字まで入力できます。

警報設定	説明
データベース HDD 使用超過	2) 監視設定で設定したデータベース HDD 使用率を超過した場合に通知します。

2) 監視設定

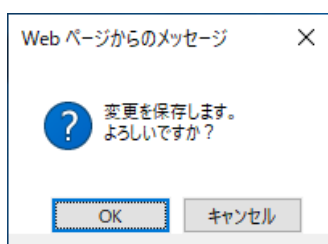
警報設定の監視項目に対して詳細設定を行います。

監視対象は C ドライブになります。

監視設定	説明
データベース HDD 使用率	データベースが保管されている HDD 使用率を指定します。 ここで指定した使用率を超過した場合に通知を行います。

3 [更新]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。



変更が保存されます。

9. ログコード

ログコードについて説明します。

9.1 システムログ出力内容（アプリケーション、サービス）

ログコード	出力内容	状態	要因/原因/発生条件	対処内容
2000	MFP との通信に失敗（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	SNMP 通信異常	MFP より指定期間 SNMP 通信が行えない。	MFP の稼働状況、SNMP 設定を含むネットワーク設定を確認してください。
2001	MFP へのログインに失敗（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	ログインエラー	MFP へのログインエラーの JOB ログを検出しました。	ログイン時の ID とパスワードを確認してください。
2012	エラーログを出力します。モデル名 ({0}) シリアル No ({1}) ログ ID ({2})	JOB ログ登録で「未登録」エラー発生時	①登録できない JOB ログデータが発生 ②登録済みの JOB ログデータを再度登録した場合	①については error log フォルダに存在する XML データを修正し、リカバリツールにて登録してください。 ②については一度削除したデバイスを再登録した場合等に発生します
2013	JOB ログ取得に失敗（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	SOAP 通信異常 (Communication Exception)	MFP と SOAP 通信による JOB ログデータ取得が行えません。	MFP の稼働状況、SOAP 通信設定を確認してください。(http と https のミスマッチ等)
2016	Job ログ 0 件収集 規定日数オーバー（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	既定日数収集 0 件 (e-BRIDGE 3 ※) エラー要因: 3	e-BRIDGE 3 ※: 既定日数の間に JOB ログが登録されていない。	MFP の稼働状況を確認してください。
2016	Job ログ 0 件収集 規定日数オーバー (Trap)（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	既定日数収集 0 件 (e-BRIDGE X, e-BRIDGE N ※) エラー要因: 3	e-BRIDGE X, e-BRIDGE N ※: 既定日数の間に JOB ログが登録されていない。(プリントカウンタ値更新なし)	MFP の稼働状況を確認してください。
2016	Job ログ 0 件収集 規定日数オーバー (未送信)（機器管理 No. : {0}、シリアル No. : {1}、モデル名: {2}、MFP の IP アドレス: {3}）	既定日数収集 0 件 (e-BRIDGE X, e-BRIDGE N ※) エラー要因: 4	e-BRIDGE X, e-BRIDGE N ※: 既定日数の間に JOB ログが登録されていない。(プリントカウンタ値更新あり)	MFP の稼働状況を確認してください。

ログコード	出力内容	状態	要因/原因/発生条件	対処内容
3002	保管データ作成エラー発生 (データベースの接続に失敗しました。エラー内容({0}))	DB サーバー接続失敗	SQL サーバーに接続できません。	Web.config の SQL サーバー接続設定およびイベントログより SQL サーバーの状態を確認してください。
3010	JOB ログ定時排出エラー発生 (現在の実行パスを取得できません)	実行パス取得失敗	定時排出 APP の実行パス取得処理が行えません。	LGS サーバーの状態を確認してください。
3010	JOB ログ定時排出エラー発生 (最終実行日の取得に失敗しました: {0})	最終実行日取得失敗	MFPSystem.ini の情報取得で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
3010	JOB ログ定時排出エラー発生 (最終実行日の書込に失敗しました: {0})	最終実行日設定失敗	MFPSystem.ini への情報書込で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
3010	GSV ファイルのヘッダ(大項目)の作成に失敗しました: {0}	大項目ヘッダ取得で Exception 発生	MFPSystem.ini の情報取得で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
3010	GSV ファイルのヘッダ(大項目)の作成に失敗しました: INI ファイルのキーの一覧を取得失敗	キー取得失敗	MFPSystem.ini の情報取得で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
3010	GSV ファイルのヘッダ(大項目)の作成に失敗しました: INI ファイル読取失敗	値取得失敗	MFPSystem.ini の情報取得で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
3010	GSV ファイルのヘッダ(中項目)の作成に失敗しました: {0}	中項目ヘッダ取得で Exception 発生	MFPSystem.ini の情報取得で Exception が発生しました。	MFPSystem.ini のアクセス権を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 接続失敗による MFP 情報取得失敗 (IP アドレス: {0})	SNMP 情報取得失敗(通信エラー)	MFP との SNMP 通信で通信エラーが発生しました。	MFP の稼働状況、SNMP 設定を含むネットワーク設定を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 全コミュニティ名でタイムアウト IP アドレス ({0}) モデル名 ({1}) シリアル No ({2})	SNMP 情報取得失敗(タイムアウト)	MFP との SNMP 通信でタイムアウトエラーが発生しました。	MFP の稼働状況、SNMP 設定を含むネットワーク設定を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 MFP 特定不可 元情報 [(シリアル: {0}) (モデル名: {1})] 取得情報 [(シリアル: {2}) (モデル名: {3})]	DB [デバイス情報] と取得情報の不整合、シリアル番号・モデル名取得失敗	MFP より取得したデバイス情報が DB のデバイス情報と一致しません。	MFP の設定内容およびデバイス情報を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 対象デバイスが異なります。(要求デバイス [{0} {1}]) 収集デバイス [{2} {3}]	ログ収集デバイスが異なる	MFP より取得したデバイス情報が DB のデバイス情報と一致しません。	MFP の設定内容およびデバイス情報を確認してください。
4000	TimeoutException({0}) モデル名 ({1}) シリアル No ({2})	SOAP 通信でタイムアウト発生	MFP との SOAP 通信でタイムアウトエラー発生。	MFP の稼働状況、SOAP 通信設定を確認してください。
4000	FaultException (Code: {0} Reason: {1}) モデル名 ({2}) シリアル No ({3})	SOAP 通信で FaultException 発生	MFP との SOAP 通信で FaultException 発生。	MFP の稼働状況、SOAP 通信設定を確認してください。
4000	CommunicationException({0}) モデル名 ({1}) シリアル No ({2})	SOAP 通信で CommunicationException 発生	MFP との SOAP 通信で CommunicationException 発生。	MFP の稼働状況、SOAP 通信設定を確認してください。

ログコード	出力内容	状態	要因/原因/発生条件	対処内容
4000	監視通知(未登録)のメール送信に失敗しました。({0})	未登録メール送信失敗	未登録メール送信時にエラーが発生しました。	「システム設定」「ネットワーク」「SMTP」の設定内容およびメールサーバーの状態を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 JOB ログ収集処理実行中に例外発生(デバイス情報テーブルを更新不可(インデックス:{0})({1})モデル名({2})シリアルNo({3}))	デバイス情報更新に失敗	JOB ログ収集・登録後のデバイス情報更新に失敗しました。	デバイス情報を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 タイムアウト時の後処理で例外発生(タイムアウト時の後処理でMFP 状態を更新不可(インデックス:{0})({1})モデル名({2})シリアルNo({3}))	ステータス変更失敗	JOB ログ収集での SNMP 通信タイムアウト発生時のデバイス情報のステータス更新に失敗しました。	デバイス情報を確認してください。
4000	JOB ログ収集異常終了 SOAP 通信失敗時の後処理で例外発生(SOAP 通信失敗の後処理でMFP 状態を更新不可(インデックス:{0})({1})モデル名({2})シリアルNo({3}))	ステータス変更失敗	JOB ログ収集での SOAP 通信エラー発生時のデバイス情報のステータス更新に失敗しました。	デバイス情報を確認してください。
4000	メールの通知に失敗しました。{0} : {1}	上限枚数超過メール送信失敗	使用枚数上限超過メール送信時にエラーが発生しました。	「システム設定」「ネットワーク」「SMTP」の設定内容およびメールサーバーの状態を確認してください。
4020	Trap 受信データ格納フォルダ無し	Trap 受信データ格納フォルダが存在しない。	Trap 受信データ格納フォルダが存在しない。	Trap 受信サービスを再起動してください。
4020	デバイス情報不整合 元情報[(シリアル:{0})(モデル名:{1})] 取得情報[(シリアル:{2})(モデル名:{3})]	デバイス情報不整合	受信データ内容とデバイス情報に不整合が発生した。	MFP のデバイス情報を修正してください。
4020	例外発生:メール送信 {0} : {1} : {2}	メール送信処理で Exception 発生	警報通知メール送信で Exception が発生した。	「システム設定」「ネットワーク」「SMTP」の設定内容およびメールサーバーの状態を確認してください。
4200	ユーザ・部門情報自動更新異常終了 情報更新処理中に例外発生(LDAP 認証サーバーからインポート読み取り失敗)	LDAP 情報取得失敗	LDAP サーバーから情報の取得が行えません。	「システム設定」「ネットワーク」「LDAP」の設定内容およびLDAP サーバーの状態を確認してください。

※ e-BRIDGE 第 3 世代 (e-BRIDGE 3) : e-STUDIO4520C Series, e-STUDIO6530C Series, e-STUDIO455 Series, e-STUDIO855 Series

※ e-BRIDGE 第 X 世代 (e-BRIDGE X) : e-STUDIO4540C Series, e-STUDIO6550C Series, e-STUDIO456 Series, e-STUDIO856 Series, e-STUDIO2050C, e-STUDIO5055C Series, Loops LP30, e-STUDIO6570C Series, e-STUDIO507 Series, e-STUDIO857 Series, Loops LP301

※ e-BRIDGE 第 N 世代 (e-BRIDGE N) : e-STUDIO5005AC Series, e-STUDIO5008A Series, e-STUDIO7506AC Series, e-STUDIO8508A Series, Loops LP50 Series, e-STUDIO5015AC Series, e-STUDIO5018A Series, e-STUDIO7516AC Series, e-STUDIO8518A Series

9.2 システムログ出力内容（Web 画面）

ログコード	出力内容	状態	対処内容
1001	ユーザ ID またはパスワードが間違っています。{0}	ログインエラー	正しいログイン情報を使用してください。
1101	同一デバイスが登録/ディスカバリ済みです。機器管理 No. が他の MFP と重複しています。	デバイス情報重複	デバイス情報を確認してください。
1106	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1107	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1108	機器管理 No. が他の MFP と重複しています。	機器管理 No 重複	重複しない機器管理 No を入力してください。
1115	機器管理 No. が他の MFP と重複しています。	機器管理 No 重複	重複しない機器管理 No を入力してください。
1116	機器管理 No. が他の MFP と重複しています。	機器管理 No 重複	重複しない機器管理 No を入力してください。
1201	すでに部課コードが存在します。	部門コード重複	重複しない部門コードを入力してください。
1205	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1206	行数が 65530 行を超えています。	行数規定値超過	絞り込み設定を変更して行数を減少させるかシステム設定テーブルの上限値を直接変更してください。
1207	すでに部課コードが存在します。	部門コード重複	重複しない部課コードを入力してください。
1208	すでに部課コードが存在します。	部門コード重複	重複しない部課コードを入力してください。
1301	すでにユーザ ID が存在します。	ユーザ ID 重複	重複しないユーザ ID を入力してください。
1305	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1306	行数が 65530 行を超えています。	行数規定値超過	絞り込み設定を変更して行数を減少させるかシステム設定テーブルの上限値を直接変更してください。
1307	すでにユーザ ID が存在します。	ユーザ ID 重複	重複しないユーザ ID を入力してください。
1308	すでにユーザ ID が存在します。	ユーザ ID 重複	重複しないユーザ ID を入力してください。
1401	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1501	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1502	実行中のため同時に実行できません。	同時実行中	実行中のディスカバリが終了後、再実行してください。
1502	ジョブログ収集対象のデバイスが指定されていません。	即時収集対象なし	収集対象の MFP を指定して実行してください。
1502	ジョブログ収集対象のデバイスがありません。	即時収集対象なし	収集対象の MFP を指定して実行してください。